

令和 3 年度

青森県公営企業会計決算審査意見書

青森県工業用水道事業会計

青森県下水道事業会計

青森県病院事業会計

青森県監査委員



青 監 査 第 3 5 号  
令和 4 年 9 月 1 4 日

青森県知事 三 村 申 吾 殿

青森県監査委員 竹 内 均  
青森県監査委員 川 嶋 由紀子  
青森県監査委員 齊 藤 爾  
青森県監査委員 鳴 海 恵一郎

令和 3 年度青森県公営企業会計決算審査意見書について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、令和3年度青森県工業用水道事業会計、令和3年度青森県下水道事業会計及び令和3年度青森県病院事業会計の決算並びに同条第1項の書類について審査した結果、別紙のとおり意見書を提出します。



# 目 次

## 青森県工業用水道事業会計

第1	審 査 の 方 法	-----	1
第2	審査の結果及び意見	-----	1
第3	決 算 の 概 要		
1	事 業 の 概 況	-----	2
2	決 算 の 状 況	-----	3
3	経 営 の 実 績	-----	3
4	財 政 状 況	-----	5
別 表			
別表1	令和3年度給水実績調	-----	7
別表2	事業実績対前年度比較調	-----	8
別表3	比較損益計算書	-----	9
別表4	比較貸借対照表	-----	10

## 青森県下水道事業会計

第1	審 査 の 方 法	-----	13
第2	審査の結果及び意見	-----	13
第3	決 算 の 概 要		
1	流域下水道事業		
(1)	事業の概況	-----	14
(2)	決算の状況	-----	15
(3)	経営の実績	-----	16
(4)	財政状況	-----	17
2	十和田湖特定環境保全公共下水道事業		
(1)	事業の概況	-----	18
(2)	決算の状況	-----	18
(3)	経営の実績	-----	19
(4)	財政状況	-----	20
別 表			
別表1	令和3年度処理水量実績調（流域下水道事業）	-----	23
別表2	令和3年度処理水量実績調 （十和田湖特定環境保全公共下水道事業）	-----	24

別表 3	比較損益計算書（合計）	25
別表 4	比較損益計算書（流域下水道事業）	26
別表 5	比較損益計算書（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）	27
別表 6	比較貸借対照表（合計）	28
別表 7	比較貸借対照表（流域下水道事業）	30
別表 8	比較貸借対照表（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）	32

## 青森県病院事業会計

第 1	審 査 の 方 法	35
第 2	審査の結果及び意見	35
	1 青森県立中央病院	
	2 青森県立つくしが丘病院	
第 3	決 算 の 概 要	
	1 青森県立中央病院	
	(1)事業の概況	37
	(2)決算の状況	38
	(3)経営の実績	38
	(4)財 政 状 況	40
	2 青森県立つくしが丘病院	
	(1)事業の概況	41
	(2)決算の状況	41
	(3)経営の実績	42
	(4)財 政 状 況	43
別	表（青森県立中央病院）	
	別表 1 利用患者状況調	45
	別表 2 年度別患者数比較表	46
	別表 3 比較損益計算書	47
	別表 4 比較貸借対照表	48
	別表 5 経 営 分 析 表	50
別	表（青森県立つくしが丘病院）	
	別表 6 利用患者状況調	53
	別表 7 比較損益計算書	54
	別表 8 比較貸借対照表	55
	別表 9 経 営 分 析 表	57

# 青森県工業用水道事業会計





## 第1 審査の方法

令和3年度青森県工業用水道事業会計の決算審査に当たっては、審査に付された決算書類及び決算附属書類について、青森県監査委員監査基準に準拠し、

- 1 適法性及び正確性
- 2 事業運営の経済性
- 3 公共の福祉の増進

などに重点をおき照合精査するとともに、定期監査及び例月出納検査の結果をも参考にして審査を実施した。

## 第2 審査の結果及び意見

審査の結果、決算書類及び決算附属書類は関係法令等に基づいて作成され、令和3年度の経営成績及び令和4年3月31日現在の財政状態を適正に表示していることを確認した。

当年度の事業収支は、事業収益836,814,921円、事業費用695,293,553円で、純利益141,521,368円を計上しており、当年度末の累積剰余金は1,279,506,616円となっている。

工業用水道事業を取り巻く経営環境は、施設・設備の老朽化対策に係る修繕費の増加等により、今後厳しい状況が続くと見込まれることから、一層の経営安定化を図るとともに、施設・設備の更新、改良、修繕を計画的かつ効率的に実施するよう努める必要がある。

## 第3 決算の概要

### 1 事業の概況

#### (1) 施設の状況

当施設の1日最大給水能力は、350,000立方メートルである。

当年度末における給水先事業所数は、10箇所である。

また、当年度末における1日当たり基本使用水量は、302,810立方メートルとなっている。

#### (2) 職員の状況

当年度末における職員数は18人で、前年度と同じである。

職員の配置は、本庁7人及び八戸工業用水道管理事務所11人となっている。

#### (3) 給水量の状況（別表1・2参照）

当年度の料金対象使用水量は113,091,833立方メートルである。

これは、年間の基本使用水量110,945,650立方メートルに特定使用水量2,249,160立方メートルを加え、減免使用水量102,977立方メートルを差し引いたものである。

#### (4) 建設改良の状況

当年度における建設改良費は7,164,481円で、公用車購入3,650,469円、所長室外空調機更新工事2,093,300円及び取水口詰所等改修設計業務委託1,420,712円である。

## 2 決算の状況

### (1) 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	915,213,000	920,317,451	5,104,451	100.6
支 出	824,872,000	778,068,521	△ 46,803,479	94.3
収 支 差 引	90,341,000	142,248,930	51,907,930	-

### (2) 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	0	107,911	107,911	-
支 出	162,544,000	109,326,661	△ 53,217,339	67.3
収 支 差 引	△ 162,544,000	△ 109,218,750	53,325,250	-

資本的収入額が資本的支出額に不足する額109,218,750円は、建設改良積立金6,415,065円、損益勘定留保資金102,162,180円並びに消費税及び地方消費税資本的収支調整額641,505円で補てんしている。

## 3 経営の実績 (別表3・4参照)

### (1) 損益計算書

令和3年度の損益状況についてみると、事業収益836,814,921円から事業費用695,293,553円を差し引いた純利益は141,521,368円で、前年度の純利益210,406,349円に比較して68,884,981円(32.7%)減少している。

**ア** 営業収益は834,617,702円で、前年度に比較して23,529,471円(2.7%)減少している。

これは、給水収益の減によるものである。

**イ** 営業外収益は2,197,219円で、前年度に比較して213,945円(10.8%)増加している。

これは、受取利息及び配当金で179,916円(33.6%)及び長期前受金戻入で8,770円

(0.6%) 減となったが、雑収益で402,631円 (3,228.0%) 増となったことによるものである。

**ウ** 営業費用は687,419,966円で、前年度に比較して48,177,126円 (7.5%) 増加している。

これは、主として、減価償却費で4,233,510円 (3.0%) 減となったが、配水及び給水費で35,498,273円 (7.9%) 及び総係費で15,087,136円 (30.0%) 増となったことによるものである。

**エ** 営業外費用は7,873,587円で、前年度に比較して2,607,671円 (24.9%) 減少している。

これは、主として、支払利息及び企業債取扱諸費で2,601,898円 (24.9%) 減となったことによるものである。

**オ** 営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は147,197,736円で、前年度の営業利益218,904,333円に比較して71,706,597円 (32.8%) 減少している。

**カ** 営業収益及び営業外収益から営業費用及び営業外費用を差し引いた経常利益は141,521,368円で、前年度の経常利益210,406,349円に比較して68,884,981円 (32.7%) 減少している。

## **(2) 剰余金計算書**

### **ア 利益剰余金**

当年度末処分利益剰余金は147,936,433円となったが、これは当年度純利益141,521,368円にその他未処分利益剰余金変動額6,415,065円を加えたものである。

また、前年度末処分利益剰余金221,332,288円は、建設改良積立金210,406,349円及び資本金の組入資本金10,925,939円として処分している。

### **イ 資本剰余金**

資本剰余金の当年度末残高は182,860円で、前年度末残高と同じである。

## **(3) 剰余金処分計算書 (案)**

当年度末処分利益剰余金147,936,433円は、建設改良積立金として141,521,368円を積み立てし、資本金に6,415,065円を組入れすることにしていく。

## 4 財政状況（別表4参照）

### （1）貸借対照表

#### ア 資産

当年度末における資産合計は6,682,898,319円で、前年度に比較して24,734,406円（0.4%）減少している。

これは、主として、流動資産のうち有価証券で63,400,000円（2.4%）及び現金預金で47,442,916円（9.7%）増となったが、固定資産のうち有形固定資産で132,654,396円（3.8%）減となったことによるものである。

#### イ 負債

当年度末における負債合計は467,415,575円で、前年度に比較して166,255,774円（26.2%）減少している。

これは、主として、固定負債のうち引当金で13,359,154円（12.9%）増となったが、固定負債のうち企業債で95,521,166円（36.5%）及び流動負債のうち未払金で75,647,448円（61.2%）減となったことによるものである。

#### ウ 資本

当年度末における資本合計は6,215,482,744円で、前年度に比較して141,521,368円（2.3%）増加している。

これは、主として、剰余金のうち利益剰余金で130,595,429円（11.4%）増となったことによるものである。

### （2）資金収支

当年度の受入資金総額10,238,139,314円に対し、支払資金総額は6,987,578,954円で、資金残高は3,250,560,360円であり、譲渡性預金2,713,400,000円、普通預金450,560,360円及び定期預金86,600,000円として保管されている。



## 別 表

- 別表 1 令和 3 年度給水実績調
- 別表 2 事業実績対前年度比較調
- 別表 3 比較損益計算書
- 別表 4 比較貸借対照表





## 別 表 1

## 令 和 3 年 度 給 水 実 績 調

給 水 先 事 業 所	基 本 使用水量 (A)	特 定 使用水量 (B)	超 過 使用水量 (C)	減 免 使用水量 (D)	料 金 対 象 使 用 水 量 (A) + (B) + (C) - (D)	給 水 料 金
	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	円
三菱製紙(株)八戸工場	91,670,000	0	0	83,334	91,586,666	743,500,560
大平洋金属(株)	8,322,000	0	0	7,600	8,314,400	67,496,296
八戸地域広域市町村圏事務組合 八戸環境クリーンセンター	219,000	0	0	200	218,800	1,776,212
(株)新菱八戸工場	2,372,500	1,095,000	0	3,167	3,464,333	28,123,457
高周波鑄造(株)	613,200	0	0	560	612,640	4,973,407
八戸製錬(株)八戸製錬所	3,066,000	1,154,160	0	3,840	4,216,320	34,228,082
合同酒精(株)酵素医薬品工場	912,500	0	0	833	911,667	7,400,910
東北電力(株)八戸火力発電所	803,000	0	0	733	802,267	6,512,795
片倉コープアグリ(株)八戸工場	2,372,500	0	0	2,167	2,370,333	19,242,365
八戸バイオマス発電(株)	594,950	0	0	543	594,407	4,825,388
合 計	110,945,650	2,249,160	0	102,977	113,091,833	918,079,472

## 別表 2

## 事業実績対前年度比較調

区分	料金対象使用水量			給水料金			
	令和2年度 (A)	令和3年度 (B)	増減(△) (B)-(A)	令和2年度 (C)	令和3年度 (D)	増減(△) (D)-(C)=(E)	伸び率 (E)/(C)
月	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	円	円	円	%
4	9,512,280	9,567,900	55,620	77,220,688	77,672,211	451,523	0.6
5	9,905,740	9,696,830	△ 208,910	80,414,795	78,718,863	△ 1,695,932	△ 2.1
6	9,479,687	9,164,923	△ 314,764	76,956,090	74,400,843	△ 2,555,247	△ 3.3
7	9,905,740	9,584,270	△ 321,470	80,414,795	77,805,101	△ 2,609,694	△ 3.2
8	9,894,270	9,584,270	△ 310,000	80,321,681	77,805,101	△ 2,516,580	△ 3.1
9	9,575,100	9,234,780	△ 340,320	77,730,661	74,967,943	△ 2,762,718	△ 3.6
10	9,886,830	9,574,190	△ 312,640	80,261,283	77,723,271	△ 2,538,012	△ 3.2
11	9,567,900	9,275,100	△ 292,800	77,672,211	75,295,261	△ 2,376,950	△ 3.1
12	9,886,830	9,584,270	△ 302,560	80,261,283	77,805,101	△ 2,456,182	△ 3.1
1	9,835,902	9,584,270	△ 251,632	79,847,849	77,805,101	△ 2,042,748	△ 2.6
2	8,930,040	8,656,760	△ 273,280	72,494,062	70,275,575	△ 2,218,487	△ 3.1
3	9,899,790	9,584,270	△ 315,520	80,366,492	77,805,101	△ 2,561,391	△ 3.2
計	116,280,109	113,091,833	△ 3,188,276	(858,147,173) 943,961,890	(834,617,702) 918,079,472	(△ 23,529,471) △ 25,882,418	(△ 2.7) △ 2.7

注：( ) は消費税抜きの額である。

## 別表 3

## 比較損益計算書

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
営業収益	円 858,950,843	% 99.8	円 858,147,173	% 99.8	円 834,617,702	% 99.7	円 △ 23,529,471	% △ 2.7
給水収益	858,950,843	99.8	858,147,173	99.8	834,617,702	99.7	△ 23,529,471	△ 2.7
営業費用	662,066,539	97.5	639,242,840	98.4	687,419,966	98.9	48,177,126	7.5
(1)配水及び給水費	441,902,007	65.1	447,371,547	68.9	482,869,820	69.4	35,498,273	7.9
(2)総係費	62,878,086	9.3	50,303,549	7.7	65,390,685	9.4	15,087,136	30.0
(3)減価償却費	153,498,635	22.6	141,493,159	21.8	137,259,649	19.7	△ 4,233,510	△ 3.0
(4)資産減耗費	3,787,811	0.6	74,585	0.0	1,899,812	0.3	1,825,227	2,447.2
営業損益	196,884,304	—	218,904,333	—	147,197,736	—	△ 71,706,597	△ 32.8
営業外収益	2,108,538	0.2	1,983,274	0.2	2,197,219	0.3	213,945	10.8
(1)受取利息及び配当金	527,032	0.1	535,800	0.1	355,884	0.0	△ 179,916	△ 33.6
(2)長期前受金戻入	1,473,173	0.2	1,435,001	0.2	1,426,231	0.2	△ 8,770	△ 0.6
(3)雑収益	108,333	0.0	12,473	0.0	415,104	0.0	402,631	3,228.0
営業外費用	13,010,038	1.9	10,481,258	1.6	7,873,587	1.1	△ 2,607,671	△ 24.9
(1)支払利息及び 企業債取扱諸費	12,985,419	1.9	10,458,036	1.6	7,856,138	1.1	△ 2,601,898	△ 24.9
(2)雑支出	24,619	0.0	23,222	0.0	17,449	0.0	△ 5,773	△ 24.9
営業外損益	△ 10,901,500	—	△ 8,497,984	—	△ 5,676,368	—	2,821,616	33.2
経常損益	185,982,804	—	210,406,349	—	141,521,368	—	△ 68,884,981	△ 32.7
特別損失	4,200,000	0.6	0	—	0	—	0	—
その他特別損失	4,200,000	0.6	0	—	0	—	0	—
(事業収益合計)	861,059,381	100.0	860,130,447	100.0	836,814,921	100.0	△ 23,315,526	△ 2.7
(事業費用合計)	679,276,577	100.0	649,724,098	100.0	695,293,553	100.0	45,569,455	7.0
当年度純損益	181,782,804	—	210,406,349	—	141,521,368	—	△ 68,884,981	△ 32.7
その他未処分利益剰 余金変動額	70,110,000	—	10,925,939	—	6,415,065	—	△ 4,510,874	△ 41.3
当年度未処分利益剰 余金	251,892,804	—	221,332,288	—	147,936,433	—	△ 73,395,855	△ 33.2

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額 (B) について、絶対値で計算している。

## 別表 4

## 比較貸借対照表(1)

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		比較増減	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	<b>3,607,905,219</b>	<b>54.6</b>	<b>3,477,263,414</b>	<b>51.8</b>	<b>3,344,620,058</b>	<b>50.0</b>	<b>△ 132,643,356</b>	<b>△ 3.8</b>
(1)有形固定資産	3,607,398,499	54.6	3,476,756,694	51.8	3,344,102,298	50.0	△ 132,654,396	△ 3.8
土地	272,520,270	4.1	272,520,270	4.1	272,520,270	4.1	0	0.0
建物	77,722,928	1.2	74,892,858	1.1	72,205,484	1.1	△ 2,687,374	△ 3.6
構築物	2,824,488,979	42.8	2,728,836,578	40.7	2,637,164,599	39.5	△ 91,671,979	△ 3.4
機械及び装置	354,067,483	5.4	301,827,469	4.5	261,509,850	3.9	△ 40,317,619	△ 13.4
車両運搬具	181,658	0.0	181,658	0.0	3,402,166	0.1	3,220,508	1,772.8
工具、器具及び備品	4,327,884	0.1	15,582,625	0.2	13,093,136	0.2	△ 2,489,489	△ 16.0
建設準備勘定	53,910,000	0.8	53,910,000	0.8	53,910,000	0.8	0	0.0
建設仮勘定	20,179,297	0.3	29,005,236	0.4	30,296,793	0.5	1,291,557	4.5
(2)無形固定資産	493,060	0.0	493,060	0.0	493,060	0.0	0	0.0
電話加入権	493,060	0.0	493,060	0.0	493,060	0.0	0	0.0
(3)投資その他の資産	13,660	0.0	13,660	0.0	24,700	0.0	11,040	80.8
その他投資	13,660	0.0	13,660	0.0	24,700	0.0	11,040	80.8
<b>流動資産</b>	<b>2,996,917,799</b>	<b>45.4</b>	<b>3,230,369,311</b>	<b>48.2</b>	<b>3,338,278,261</b>	<b>50.0</b>	<b>107,908,950</b>	<b>3.3</b>
(1)現金預金	2,906,410,118	44.0	489,717,444	7.3	537,160,360	8.0	47,442,916	9.7
(2)未収金	79,980,989	1.2	80,392,175	1.2	77,829,729	1.2	△ 2,562,446	△ 3.2
(3)有価証券	0	—	2,650,000,000	39.5	2,713,400,000	40.6	63,400,000	2.4
(4)貯蔵品	10,526,692	0.2	10,259,692	0.2	9,888,172	0.1	△ 371,520	△ 3.6
<b>(資産合計)</b>	<b>6,604,823,018</b>	<b>100.0</b>	<b>6,707,632,725</b>	<b>100.0</b>	<b>6,682,898,319</b>	<b>100.0</b>	<b>△ 24,734,406</b>	<b>△ 0.4</b>

## 比較貸借対照表(2)

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
<b>固定負債</b>	円	%	円	%	円	%	円	%
	528,756,889	8.0	365,379,678	5.4	283,217,666	4.2	△ 82,162,012	△ 22.5
(1) 企業債	363,679,922	5.5	261,528,782	3.9	166,007,616	2.5	△ 95,521,166	△ 36.5
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	363,679,922	5.5	261,528,782	3.9	166,007,616	2.5	△ 95,521,166	△ 36.5
(2) 引当金	165,076,967	2.5	103,850,896	1.5	117,210,050	1.8	13,359,154	12.9
退職給付引当金	115,266,618	1.7	54,040,547	0.8	67,399,701	1.0	13,359,154	24.7
修繕引当金	49,810,349	0.8	49,810,349	0.7	49,810,349	0.7	0	0.0
<b>流動負債</b>	180,584,078	2.7	237,799,648	3.5	155,132,117	2.3	△ 82,667,531	△ 34.8
(1) 企業債	99,549,242	1.5	102,151,140	1.5	95,521,166	1.4	△ 6,629,974	△ 6.5
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	99,549,242	1.5	102,151,140	1.5	95,521,166	1.4	△ 6,629,974	△ 6.5
(2) 未払金	68,317,179	1.0	123,653,172	1.8	48,005,724	0.7	△ 75,647,448	△ 61.2
(3) 引当金	11,093,000	0.2	10,935,000	0.2	10,542,000	0.2	△ 393,000	△ 3.6
賞与引当金	9,316,000	0.1	9,175,000	0.1	8,842,000	0.1	△ 333,000	△ 3.6
法定福利費引当金	1,777,000	0.0	1,760,000	0.0	1,700,000	0.0	△ 60,000	△ 3.4
(4) その他流動負債	1,624,657	0.0	1,060,336	0.0	1,063,227	0.0	2,891	0.3
<b>繰延収益</b>	31,927,024	0.5	30,492,023	0.5	29,065,792	0.4	△ 1,426,231	△ 4.7
(1) 長期前受金	113,110,412	1.7	113,110,412	1.7	113,110,412	1.7	0	0.0
(2) 長期前受金 収益化累計額	△ 81,183,388	△ 1.2	△ 82,618,389	△ 1.2	△ 84,044,620	△ 1.3	△ 1,426,231	△ 1.7
<b>(負債合計)</b>	741,267,991	11.2	633,671,349	9.4	467,415,575	7.0	△ 166,255,774	△ 26.2
<b>資本金</b>	4,854,940,189	73.5	4,925,050,189	73.4	4,935,976,128	73.9	10,925,939	0.2
<b>剰余金</b>	1,008,614,838	15.3	1,148,911,187	17.1	1,279,506,616	19.1	130,595,429	11.4
(1) 資本剰余金	182,860	0.0	182,860	0.0	182,860	0.0	0	0.0
受贈財産評価額	182,860	0.0	182,860	0.0	182,860	0.0	0	0.0
(2) 利益剰余金	1,008,431,978	15.3	1,148,728,327	17.1	1,279,323,756	19.1	130,595,429	11.4
建設改良積立金	756,539,174	11.5	927,396,039	13.8	1,131,387,323	16.9	203,991,284	22.0
当年度未処分 利益剰余金	251,892,804	3.8	221,332,288	3.3	147,936,433	2.2	△ 73,395,855	△ 33.2
<b>(資本合計)</b>	5,863,555,027	88.8	6,073,961,376	90.6	6,215,482,744	93.0	141,521,368	2.3
<b>負債・資本合計</b>	6,604,823,018	100.0	6,707,632,725	100.0	6,682,898,319	100.0	△ 24,734,406	△ 0.4

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額 (B) について、絶対値で計算している。



# 青森県下水道事業会計





## 第1 審査の方法

令和3年度青森県下水道事業会計の決算審査に当たっては、審査に付された決算書類及び決算附属書類について、青森県監査委員監査基準に準拠し、

- 1 適法性及び正確性
- 2 事業運営の経済性
- 3 公共の福祉の増進

などに重点をおき照合精査するとともに、定期監査及び例月出納検査の結果をも参考にして審査を実施した。

## 第2 審査の結果及び意見

審査の結果、決算書類及び決算附属書類は関係法令等に基づいて作成され、令和3年度の経営成績及び令和4年3月31日現在の財政状態を適正に表示していることを確認した。

青森県下水道事業の当年度の事業収支は、事業収益4,857,580,812円、事業費用4,929,813,178円で、純損失72,232,366円を計上しており、当年度未処理欠損金は212,029,770円となっている。

これを事業ごとにみると、流域下水道事業については、事業収益4,489,048,963円、事業費用4,567,464,533円で、純損失78,415,570円を計上している。

また、十和田湖特定環境保全公共下水道事業については、事業収益368,531,849円、事業費用362,348,645円で、純利益6,183,204円を計上している。なお、本事業では、過年度営業未収金が2,687,136円となっており、未収金の縮減に努める必要がある。

青森県下水道事業は、令和2年度から、地方公営企業法を一部適用し、公営企業会計に移行したが、流域下水道事業については、移行に伴う会計処理の見直しにより、純損失を計上している。

いずれの事業も施設供用開始後30年以上経過しており、老朽化した施設の更新等により、経営環境は今後厳しくなるものと見込まれる。

このため、「青森県下水道事業経営戦略」等に基づき、中長期的な視点に立った計画的な経営基盤の強化等に取り組み、施設の計画的かつ効率的な更新及び事業費用の平準化を図りながら、安定的かつ持続的な経営を行う必要がある。

## 第3 決算の概要

### 1 流域下水道事業

#### (1) 事業の概況

##### ア 施設の状況

###### (ア) 岩木川流域下水道事業

岩木川浄化センターの1日最大処理水量は99,000立方メートルである。

当年度末における対象地域は8市町村（青森市、弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、大鰐町、田舎館村及び板柳町）である。

###### (イ) 馬淵川流域下水道事業

馬淵川浄化センターの1日最大処理水量は19,200立方メートルである。

当年度末における対象地域は4市町（八戸市、六戸町、おいらせ町及び五戸町）である。

##### イ 職員の状況

当年度末における職員数は6人である。

職員の配置は、本庁3人、中南地域県民局地域整備部2人及び三八地域県民局地域整備部1人である。

##### ウ 処理水量の状況（別表1参照）

###### (ア) 岩木川流域下水道事業

当年度の岩木川浄化センターの処理水量は27,900,330立方メートル（1日平均76,439立方メートル）で、うち弘前幹線からの流入水量が20,326,390立方メートル、藤崎幹線からの流入水量が7,573,940立方メートルである。

###### (イ) 馬淵川流域下水道事業

当年度の馬淵川浄化センターの処理水量は4,932,489立方メートル（1日平均13,514立方メートル）で、うち八戸幹線からの流入水量が2,751,481立方メートル、六戸・八戸幹線からの流入水量が2,181,008立方メートルである。

## エ 建設改良の状況

### (ア) 岩木川流域下水道事業

当年度における建設改良費の総額は648,207,619円で、その主なものは、岩木川浄化センター砂ろ過接触棟受変電設備外更新工事279,400,000円、岩木川浄化センターブロワ棟受変電設備外更新工事80,000,000円、板柳中継ポンプ場機械設備更新工事68,750,000円、大鰐中継ポンプ場電気設備更新工事18,150,000円、管路施設改築・修繕詳細設計業務委託18,761,000円及び岩木川浄化センター反応槽計装設備更新工事18,150,000円である。

### (イ) 馬淵川流域下水道事業

当年度における建設改良費の総額は277,517,903円で、その主なものは、馬淵川浄化センター管理棟受変電設備更新工事66,546,000円、馬淵川流域下水道管路施設改築（管きよ更生その7）工事39,580,000円、馬淵川流域下水道管路施設改築（管きよ更生その5）工事34,320,000円、馬淵川流域下水道ストックマネジメント修繕・改築計画（処理場・ポンプ場）策定業務委託22,022,000円、馬淵川浄化センター機械棟制御電源設備更新工事20,724,000円及び馬淵川流域下水道管路施設改築（管きよ更生その6）工事20,402,000円である。

## (2) 決算の状況

### ア 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	4,963,608,000	4,688,635,024	△ 274,972,976	94.5
支 出	5,052,516,000	4,757,067,725	△ 295,448,275	94.2
収 支 差 引	△ 88,908,000	△ 68,432,701	20,475,299	-

### イ 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	2,253,388,000	1,530,816,126	△ 722,571,874	67.9
支 出	2,362,788,967	1,447,437,148	△ 915,351,819	61.3
収 支 差 引	△ 109,400,967	83,378,978	192,779,945	-

資本的収入及び支出の収支差引83,378,978円から翌年度へ繰り越される支出の財源192,414,500円を差引いた、資本的収入額が資本的支出額に不足する額

109,035,522円は、繰越工事資金101,759,487円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7,276,035円で補てんしている。

### (3) 経営の実績 (別表4・7参照)

#### ア 損益計算書

令和3年度の損益状況についてみると、事業収益4,489,048,963円から事業費用4,567,464,533円を差し引いた純損失は78,415,570円で、前年度の純損失127,052,356円に比較して48,636,786円(38.3%)減少している。

(ア) 営業収益は1,828,525,601円で、前年度に比較して29,372,528円(1.6%)減少している。

これは、負担金の減によるものである。

(イ) 営業外収益は2,599,019,469円で、前年度に比較して27,232,566円(1.1%)増加している。

これは、他会計負担金で214,000円(0.7%)及び雑収益で678円(0.5%)減となったが、長期前受金戻入で27,447,244円(1.1%)増となったことによるものである。

(ウ) 営業費用は4,464,820,685円で、前年度に比較して146,841,721円(3.4%)増加している。

これは、主として、処理場費で121,068,947円(16.4%)増となったことによるものである。

(エ) 営業外費用は102,643,848円で、前年度に比較して10,221,207円(9.1%)減少している。

これは、支払利息及び企業債取扱諸費の減によるものである。

(オ) 営業収益から営業費用を差し引いた営業損失は2,636,295,084円で前年度の営業損失2,460,080,835円に比較して176,214,249円(7.2%)増加している。

(カ) 営業収益及び営業外収益から営業費用及び営業外費用を差し引いた経常損失は139,919,463円で前年度の経常損失1,158,987円に比較して138,760,476円(11,972.6%)増加している。

(キ) 特別利益は61,503,893円で、前年度に比較して皆増となっている。

これは、消費税及び地方消費税に係る還付金によるものである。

## イ 欠損金計算書

### (ア) 欠損金

当年度未処理欠損金は205,467,926円となったが、これは前年度末の残高127,052,356円に当年度の純損失78,415,570円を加えたものである。

### (イ) 資本剰余金

資本剰余金の当年度末残高は2,781,852,486円で、前年度末残高と同じである。

## ウ 欠損金処理計算書

当年度未処理欠損金205,467,926円は、全額、翌年度に繰り越すことにしている。

## (4) 財政状況 (別表7参照)

### ア 貸借対照表

#### (ア) 資産

当年度末における資産合計は45,249,009,478円で、前年度に比較して1,829,050,095円(3.9%)減少している。

これは、流動資産のうち未収金で82,425,450円(101.1%)及び現金預金で855,502円(0.1%)増となったが、固定資産のうち有形固定資産で1,912,331,047円(4.2%)減となったことによるものである。

#### (イ) 負債

当年度末における負債合計は41,266,862,528円で、前年度に比較して1,750,634,525円(4.1%)減少している。

これは、主として、繰延収益で1,523,487,539円(4.3%)減となったことによるものである。

#### (ウ) 資本

当年度末における資本合計は3,982,146,950円で、前年度に比較して78,415,570円(1.9%)減少している。

これは、剰余金のうち欠損金で78,415,570円(61.7%)増となったことによるものである。

## イ 資金収支

当年度の受入資金総額5,292,019,356円に対し、支払資金総額は4,319,484,390円で、資金残高は972,534,966円であり、普通預金972,534,966円として保管されている。

## 2 十和田湖特定環境保全公共下水道事業

### (1) 事業の概況

#### ア 施設の状況

十和田湖浄化センターの1日最大処理水量は4,850立方メートルである。  
当年度末における対象地域は、十和田市及び秋田県鹿角郡小坂町である。

#### イ 処理水量の状況（別表2参照）

当年度の十和田湖浄化センターの処理水量は120,085立方メートル（1日平均329立方メートル）で、休屋・宇樽部幹線からの流入水量が103,243立方メートル、子ノロ・宇樽部幹線からの流入水量が16,842立方メートルである。

#### ウ 建設改良の状況

当年度における建設改良費の総額は100,137,000円で、その主なものは、十和田湖特環下水道休屋第2ポンプ場機械設備更新工事43,277,200円、十和田湖特環下水道休屋第2ポンプ場電気設備更新工事27,830,000円及び十和田湖浄化センター汚泥脱水機更新設計業務委託11,660,000円である。

### (2) 決算の状況

#### ア 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	394,547,000	374,054,127	△ 20,492,873	94.8
支 出	387,839,000	381,134,317	△ 6,704,683	98.3
収 支 差 引	6,708,000	△ 7,080,190	△ 13,788,190	-

## イ 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	324,848,000	151,348,000	△ 173,500,000	46.6
支 出	359,049,000	101,049,000	△ 258,000,000	28.1
収支差引	△ 34,201,000	50,299,000	84,500,000	-

資本的収入及び支出の収支差引50,299,000円については、全額、翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額である。

## (3) 経営の実績 (別表5・8参照)

### ア 損益計算書

令和3年度の損益状況についてみると、事業収益368,531,849円から事業費用362,348,645円を差し引いた純利益は6,183,204円で、前年度の純損失12,745,048円に比較して18,928,252円(148.5%)増加している。

(ア) 営業収益は55,322,799円で、前年度に比較して3,010,473円(5.2%)減少している。

これは、負担金で1,548,002円(3.3%)及び下水道使用料で1,462,471円(13.3%)減となったことによるものである。

(イ) 営業外収益は313,209,050円で、前年度に比較して44,046,933円(16.4%)増加している。

これは、主として、長期前受金戻入で456,705円(0.3%)減となったが、他会計負担金で44,476,000円(40.3%)増となったことによるものである。

(ウ) 営業費用は348,396,953円で、前年度と比較して30,326,019円(9.5%)増加している。

これは、主として、処理場費で3,499,351円(12.5%)減となったが、ポンプ場費で20,348,421円(524.6%)及び総係費で12,653,654円(9.9%)増となったことによるものである。

(エ) 営業外費用は13,950,720円で、前年度と比較して13,889,988円(22,871.0%)増加している。

これは、支払利息及び企業債取扱諸費で1,185円(2.4%)減となったが、雑支出で13,891,173円(121,959.4%)増となったことによるものである。

(オ) 営業収益から営業費用を差し引いた営業損失は293,074,154円で、前年度の営業損失259,737,662円に比較して33,336,492円（12.8%）増加している。

(カ) 営業収益及び営業外収益から営業費用及び営業外費用を差し引いた経常利益は6,184,176円で、前年度の経常利益9,363,723円に比較して3,179,547円（34.0%）減少している。

(キ) 特別損失は972円で、前年度と比較して23,104,476円（99.9%）減少している。

これは、下水道使用料の不納欠損処分によるものである。

## イ 欠損金計算書

(ア) 欠損金

当年度未処理欠損金は6,561,844円となったが、これは前年度末の残高12,745,048円に当年度の純利益6,183,204円を加えたものである。

(イ) 資本剰余金

資本剰余金の当年度末残高は153,047,580円で、前年度末残高と同じである。

## ウ 欠損金処理計算書

当年度未処理欠損金6,561,844円は、全額、翌年度に繰り越すことにしている。

## (4) 財政状況（別表8参照）

### ア 貸借対照表

(ア) 資産

当年度末における資産合計は3,324,420,713円で、前年度に比較して76,894,936円（2.4%）増加している。

これは、固定資産のうち有形固定資産で67,127,775円（2.1%）及び流動資産のうち貸倒引当金で861,610円（皆減）減となったが、流動資産のうち現金預金で125,014,950円（799.3%）及び未収金で19,869,371円（28.3%）増となったことによるものである。

(イ) 負債

当年度末における負債合計は3,173,630,255円で、前年度に比較して70,711,732円（2.3%）増加している。



これは、主として、繰延収益で20,575,133円（0.7%）及び固定負債のうち企業債で1,572,000円（6.1%）減となったが、流動負債のうち未払金で92,198,865円（248.5%）増となったことによるものである。

(ウ) 資 本

当年度末における資本合計は150,790,458円で、前年度に比較して6,183,204円（4.3%）増加している。

これは、純利益6,183,204円が生じたことによるものである。

**イ 資金収支**

当年度の受入資金総額480,245,948円に対し、支払資金総額は339,591,388円で、資金残高は140,654,560円であり、普通預金140,654,560円として保管されている。



## 別 表

- 別表 1 令和 3 年度処理水量実績調（流域下水道事業）
- 別表 2 令和 3 年度処理水量実績調  
（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）
- 別表 3 比較損益計算書（合計）
- 別表 4 比較損益計算書（流域下水道事業）
- 別表 5 比較損益計算書  
（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）
- 別表 6 比較貸借対照表（合計）
- 別表 7 比較貸借対照表（流域下水道事業）
- 別表 8 比較貸借対照表  
（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）



別 表 1

令和3年度 処 理 水 量 実 績 調 (流域下水道事業)

事業名	岩木川流域下水道事業			馬淵川流域下水道事業		
区分	岩木川浄化センター			馬淵川浄化センター		
	処理水量	うち 弘前幹線からの 流入水量	うち 藤崎幹線からの 流入水量	処理水量	うち 八戸幹線からの 流入水量	うち 六戸・八戸幹線 からの流入水量
月	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
4	2,228,090	1,659,960	568,130	395,849	218,515	177,334
5	2,220,190	1,638,080	582,110	414,104	229,654	184,450
6	2,098,300	1,529,620	568,680	392,421	215,955	176,466
7	2,142,220	1,553,660	588,560	410,861	225,801	185,060
8	2,293,680	1,662,180	631,500	483,359	277,436	205,923
9	2,064,130	1,503,490	560,640	392,470	217,877	174,593
10	2,439,510	1,783,680	655,830	435,959	248,087	187,872
11	2,463,890	1,800,910	662,980	393,917	218,969	174,948
12	2,584,990	1,892,150	692,840	408,456	226,836	181,620
1	2,418,220	1,771,970	646,250	413,475	231,481	181,994
2	2,169,580	1,595,370	574,210	364,664	203,667	160,997
3	2,777,530	1,935,320	842,210	426,954	237,203	189,751
計	27,900,330	20,326,390	7,573,940	4,932,489	2,751,481	2,181,008

別 表 2

令和3年度処理水量実績調（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）

事業名	十和田湖特定環境保全公共下水道事業		
区分	十和田湖浄化センター		
	処理水量	うち休屋・ 宇樽部幹線 からの流入水量	うち子ノ口・ 宇樽部幹線 からの流入水量
月	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
4	8,561	7,226	1,335
5	12,612	10,604	2,008
6	9,381	7,921	1,460
7	11,229	9,994	1,235
8	13,618	11,947	1,671
9	10,612	9,391	1,221
10	14,022	12,612	1,410
11	10,889	9,543	1,346
12	8,061	6,955	1,106
1	7,008	6,337	671
2	6,907	5,155	1,752
3	7,185	5,558	1,627
計	120,085	103,243	16,842

## 別 表 3

## 比較損益計算書(合計)

科 目	令和 2 年度		令和 3 年度		比較増減※	
	金 額 (A)	構成 比率	金 額 (B)	構成 比率	(C) = (B) - (A)	伸び率 (C) / (A)
	円	%	円	%	円	%
営業収益	1,916,231,401	40.3	1,883,848,400	38.8	△ 32,383,001	△ 1.7
(1)負担金	1,905,233,470	40.0	1,874,312,940	38.6	△ 30,920,530	△ 1.6
(2)下水道使用料	10,997,931	0.2	9,535,460	0.2	△ 1,462,471	△ 13.3
営業費用	4,636,049,898	94.7	4,813,217,638	97.6	177,167,740	3.8
(1)管渠費	912,910	0.0	5,682,425	0.1	4,769,515	522.5
(2)ポンプ場費	68,473,670	1.4	63,157,910	1.3	△ 5,315,760	△ 7.8
(3)処理場費	764,338,325	15.6	881,907,921	17.9	117,569,596	15.4
(4)総係費	1,102,677,976	22.5	1,135,831,826	23.0	33,153,850	3.0
(5)減価償却費	2,699,647,017	55.1	2,693,845,285	54.6	△ 5,801,732	△ 0.2
(6)資産減耗費	0	—	32,792,271	0.7	32,792,271	皆増
営業損益	△ 2,719,818,497	—	△ 2,929,369,238	—	△ 209,550,741	△ 7.7
営業外収益	2,840,949,020	59.7	2,912,228,519	60.0	71,279,499	2.5
(1)他会計負担金	141,104,000	3.0	185,366,000	3.8	44,262,000	31.4
(2)長期前受金戻入	2,699,647,017	56.7	2,726,637,556	56.1	26,990,539	1.0
(3)雑収益	198,003	0.0	224,963	0.0	26,960	13.6
営業外費用	112,925,787	2.3	116,594,568	2.4	3,668,781	3.2
(1)支払利息及び 企業債取扱諸費	112,914,397	2.3	102,692,005	2.1	△ 10,222,392	△ 9.1
(2)雑支出	11,390	0.0	13,902,563	0.3	13,891,173	121,959.4
営業外損益	2,728,023,233	—	2,795,633,951	—	67,610,718	2.5
経常損益	8,204,736	—	△ 133,735,287	—	△ 141,940,023	△ 1,730.0
特別利益	996,677	0.0	61,503,893	1.2	60,507,216	6,070.9
(1)その他特別利益	996,677	0.0	61,503,893	1.2	60,507,216	6,070.9
特別損失	148,998,817	3.0	972	0.0	△ 148,997,845	△ 99.9
(1)その他特別損失	148,998,817	3.0	972	0.0	△ 148,997,845	△ 99.9
(事業収益合計)	4,758,177,098	100.0	4,857,580,812	100.0	99,403,714	2.1
(事業費用合計)	4,897,974,502	100.0	4,929,813,178	100.0	31,838,676	0.7
当年度純損益	△ 139,797,404	—	△ 72,232,366	—	67,565,038	48.3
当年度未処理欠損金	139,797,404	—	212,029,770	—	72,232,366	51.7

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(A)について、絶対値で計算している。

## 別表 4

## 比較損益計算書（流域下水道事業）

科目	令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	(C) = (B) - (A)	伸び率 (C) / (A)
	円	%	円	%	円	%
営業収益	1,857,898,129	41.9	1,828,525,601	40.7	△ 29,372,528	△ 1.6
(1)負担金	1,857,898,129	41.9	1,828,525,601	40.7	△ 29,372,528	△ 1.6
(2)下水道使用料	0	—	0	—	0	—
営業費用	4,317,978,964	94.8	4,464,820,685	97.8	146,841,721	3.4
(1)管渠費	852,910	0.0	4,342,425	0.1	3,489,515	409.1
(2)ポンプ場費	64,595,000	1.4	38,930,819	0.9	△ 25,664,181	△ 39.7
(3)処理場費	736,251,377	16.2	857,320,324	18.8	121,068,947	16.4
(4)総係費	975,250,777	21.4	995,750,973	21.8	20,500,196	2.1
(5)減価償却費	2,541,028,900	55.8	2,535,683,873	55.5	△ 5,345,027	△ 0.2
(6)資産減耗費	0	—	32,792,271	0.7	32,792,271	皆増
営業損益	△ 2,460,080,835	—	△ 2,636,295,084	—	△ 176,214,249	△ 7.2
営業外収益	2,571,786,903	58.1	2,599,019,469	57.9	27,232,566	1.1
(1)他会計負担金	30,626,000	0.7	30,412,000	0.7	△ 214,000	△ 0.7
(2)長期前受金戻入	2,541,028,900	57.4	2,568,476,144	57.2	27,447,244	1.1
(3)雑収益	132,003	0.0	131,325	0.0	△ 678	△ 0.5
営業外費用	112,865,055	2.5	102,643,848	2.2	△ 10,221,207	△ 9.1
(1)支払利息及び 企業債取扱諸費	112,865,055	2.5	102,643,848	2.2	△ 10,221,207	△ 9.1
(2)雑支出	0	—	0	—	0	—
営業外損益	2,458,921,848	—	2,496,375,621	—	37,453,773	1.5
経常損益	△ 1,158,987	—	△ 139,919,463	—	△ 138,760,476	△ 11,972.6
特別利益	0	—	61,503,893	1.3	61,503,893	皆増
(1)その他特別利益	0	—	61,503,893	1.3	61,503,893	皆増
特別損失	125,893,369	2.8	0	—	△ 125,893,369	皆減
(1)その他特別損失	125,893,369	2.8	0	—	△ 125,893,369	皆減
(事業収益合計)	4,429,685,032	100.0	4,489,048,963	100.0	59,363,931	1.3
(事業費用合計)	4,556,737,388	100.0	4,567,464,533	100.0	10,727,145	0.2
当年度純損益	△ 127,052,356	—	△ 78,415,570	—	48,636,786	38.3
当年度未処理欠損金	127,052,356	—	205,467,926	—	78,415,570	61.7

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額 (A) について、絶対値で計算している。



## 別表 5

## 比較損益計算書（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）

科目	令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	(C) = (B) - (A)	伸び率 (C) / (A)
	円	%	円	%	円	%
営業収益	58,333,272	17.8	55,322,799	15.0	△ 3,010,473	△ 5.2
(1)負担金	47,335,341	14.4	45,787,339	12.4	△ 1,548,002	△ 3.3
(2)下水道使用料	10,997,931	3.3	9,535,460	2.6	△ 1,462,471	△ 13.3
営業費用	318,070,934	93.2	348,396,953	96.1	30,326,019	9.5
(1)管渠費	60,000	0.0	1,340,000	0.4	1,280,000	2,133.3
(2)ポンプ場費	3,878,670	1.1	24,227,091	6.7	20,348,421	524.6
(3)処理場費	28,086,948	8.2	24,587,597	6.8	△ 3,499,351	△ 12.5
(4)総係費	127,427,199	37.3	140,080,853	38.7	12,653,654	9.9
(5)減価償却費	158,618,117	46.5	158,161,412	43.6	△ 456,705	△ 0.3
(6)資産減耗費	0	—	0	—	0	—
営業損益	△ 259,737,662	—	△ 293,074,154	—	△ 33,336,492	△ 12.8
営業外収益	269,162,117	81.9	313,209,050	85.0	44,046,933	16.4
(1)他会計負担金	110,478,000	33.6	154,954,000	42.0	44,476,000	40.3
(2)長期前受金戻入	158,618,117	48.3	158,161,412	42.9	△ 456,705	△ 0.3
(3)雑収益	66,000	0.0	93,638	0.0	27,638	41.9
営業外費用	60,732	0.0	13,950,720	3.9	13,889,988	22,871.0
(1)支払利息及び 企業債取扱諸費	49,342	0.0	48,157	0.0	△ 1,185	△ 2.4
(2)雑支出	11,390	0.0	13,902,563	3.8	13,891,173	121,959.4
営業外損益	269,101,385	—	299,258,330	—	30,156,945	11.2
経常損益	9,363,723	—	6,184,176	—	△ 3,179,547	△ 34.0
特別利益	996,677	0.3	0	—	△ 996,677	皆減
(1)その他特別利益	996,677	0.3	0	—	△ 996,677	皆減
特別損失	23,105,448	6.8	972	0.0	△ 23,104,476	△ 99.9
(1)その他特別損失	23,105,448	6.8	972	0.0	△ 23,104,476	△ 99.9
（事業収益合計）	328,492,066	100.0	368,531,849	100.0	40,039,783	12.2
（事業費用合計）	341,237,114	100.0	362,348,645	100.0	21,111,531	6.2
当年度純損益	△ 12,745,048	—	6,183,204	—	18,928,252	148.5
当年度未処理欠損金	12,745,048	—	6,561,844	—	△ 6,183,204	△ 48.5

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額（A）について、絶対値で計算している。

## 別表 6

## 比較貸借対照表(1) (合計)

科 目	開始貸借対照表 (令和2年4月1日)		令和2年度		令和3年度		比較増減	
	金額 (A)	構成 比率	金額 (B)	構成 比率	金額 (C)	構成 比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	50,470,989,937	97.8	49,186,582,185	97.7	47,207,123,363	97.2	△ 1,979,458,822	△ 4.0
(1)有形固定資産	50,470,241,525	97.8	49,185,833,773	97.7	47,206,374,951	97.2	△ 1,979,458,822	△ 4.0
土地	3,219,148,015	6.2	3,219,148,015	6.4	3,219,148,015	6.6	0	0.0
建物	7,011,242,614	13.6	6,869,996,918	13.7	6,586,249,271	13.6	△ 283,747,647	△ 4.1
構築物	27,792,159,683	53.9	26,823,042,467	53.3	25,911,902,107	53.3	△ 911,140,360	△ 3.4
機械及び装置	12,126,574,660	23.5	12,214,466,758	24.3	11,114,726,379	22.9	△ 1,099,740,379	△ 9.0
工具、器具及び備品	8,446,774	0.0	15,206,237	0.0	13,013,961	0.0	△ 2,192,276	△ 14.4
建設仮勘定	312,669,779	0.6	43,973,378	0.1	361,335,218	0.7	317,361,840	721.7
(2)無形固定資産	748,412	0.0	748,412	0.0	748,412	0.0	0	0.0
借地権	6,567	0.0	6,567	0.0	6,567	0.0	0	0.0
地上権	741,845	0.0	741,845	0.0	741,845	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	1,116,915,805	2.2	1,139,003,165	2.3	1,366,306,828	2.8	227,303,663	20.0
(1)現金預金	1,096,230,972	2.1	987,319,074	2.0	1,113,189,526	2.3	125,870,452	12.7
(2)未収金	20,684,833	0.0	151,684,091	0.3	253,978,912	0.5	102,294,821	67.4
(3)貸倒引当金	0	—	0	—	△ 861,610	0.0	△ 861,610	皆減
<b>(資産合計)</b>	51,587,905,742	100.0	50,325,585,350	100.0	48,573,430,191	100.0	△ 1,752,155,159	△ 3.5

## 比較貸借対照表(2) (合計)

科 目	開始貸借対照表 (令和2年4月1日)		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成 比率	金額 (B)	構成 比率	金額 (C)	構成 比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定負債</b>	6,454,189,010	12.5	6,241,565,384	12.4	5,903,834,216	12.2	△ 337,731,168	△ 5.4
(1) 企業債	6,454,189,010	12.5	6,241,565,384	12.4	5,903,834,216	12.2	△ 337,731,168	△ 5.4
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,326,685,010	12.3	6,118,915,384	12.2	5,788,528,216	11.9	△ 330,387,168	△ 5.4
その他の企業債	127,504,000	0.2	122,650,000	0.2	115,306,000	0.2	△ 7,344,000	△ 6.0
<b>流動負債</b>	1,357,692,396	2.6	1,457,708,513	2.9	1,659,579,560	3.4	201,871,047	13.8
(1) 企業債	514,449,715	1.0	522,623,625	1.0	528,731,167	1.1	6,107,542	1.2
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	512,295,715	1.0	517,769,625	1.0	521,387,167	1.1	3,617,542	0.7
その他の企業債	2,154,000	0.0	4,854,000	0.0	7,344,000	0.0	2,490,000	51.3
(2) 未払金	843,242,681	1.6	934,784,888	1.9	1,127,484,393	2.3	192,699,505	20.6
(3) 引当金	0	—	0	—	3,064,000	0.0	3,064,000	皆増
賞与引当金	0	—	0	—	2,569,000	0.0	2,569,000	皆増
法定福利費引当金	0	—	0	—	495,000	0.0	495,000	皆増
(4) その他流動負債	0	—	300,000	0.0	300,000	0.0	0	0.0
<b>繰延収益</b>	39,433,211,158	76.4	38,421,141,679	76.3	36,877,079,007	75.9	△ 1,544,062,672	△ 4.0
(1) 長期前受金	39,433,211,158	76.4	41,120,788,696	81.7	42,268,588,830	87.0	1,147,800,134	2.8
(2) 長期前受金 収益化累計額	0	—	△ 2,699,647,017	△ 5.4	△ 5,391,509,823	△ 11.1	△ 2,691,862,806	△ 99.7
<b>(負債合計)</b>	47,245,092,564	91.6	46,120,415,576	91.6	44,440,492,783	91.5	△ 1,679,922,793	△ 3.6
<b>資本金</b>	1,407,913,112	2.7	1,410,067,112	2.8	1,410,067,112	2.9	0	0.0
<b>剰余金</b>	2,934,900,066	5.7	2,795,102,662	5.6	2,722,870,296	5.6	△ 72,232,366	△ 2.6
(1) 資本剰余金	2,934,900,066	5.7	2,934,900,066	5.8	2,934,900,066	6.0	0	0.0
建設負担金	604,829,678	1.2	604,829,678	1.2	604,829,678	1.2	0	0.0
受贈財産評価額	635,548	0.0	635,548	0.0	635,548	0.0	0	0.0
他会計負担金	30,719,007	0.1	30,719,007	0.1	30,719,007	0.1	0	0.0
国庫補助金	1,666,832,810	3.2	1,666,832,810	3.3	1,666,832,810	3.4	0	0.0
その他負担金	19,304,018	0.0	19,304,018	0.0	19,304,018	0.0	0	0.0
その他資本剰余金	612,579,005	1.2	612,579,005	1.2	612,579,005	1.3	0	0.0
(2) 欠損金	0	—	139,797,404	0.3	212,029,770	0.4	72,232,366	51.7
当年度未処理欠損金	0	—	139,797,404	0.3	212,029,770	0.4	72,232,366	51.7
<b>(資本合計)</b>	4,342,813,178	8.4	4,205,169,774	8.4	4,132,937,408	8.5	△ 72,232,366	△ 1.7
<b>負債・資本合計</b>	51,587,905,742	100.0	50,325,585,350	100.0	48,573,430,191	100.0	△ 1,752,155,159	△ 3.5

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 7

## 比較貸借対照表(1) (流域下水道事業)

科 目	開始貸借対照表 (令和2年4月1日)		令和2年度		令和3年度		比較増減	
	金額 (A)	構成 比率	金額 (B)	構成 比率	金額 (C)	構成 比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	47,179,049,757	97.8	46,024,871,870	97.8	44,112,540,823	97.5	△ 1,912,331,047	△ 4.2
(1)有形固定資産	47,179,043,190	97.8	46,024,865,303	97.8	44,112,534,256	97.5	△ 1,912,331,047	△ 4.2
土地	3,066,100,435	6.4	3,066,100,435	6.5	3,066,100,435	6.8	0	0.0
建物	6,393,456,816	13.3	6,279,593,565	13.3	6,023,228,363	13.3	△ 256,365,202	△ 4.1
構築物	25,841,765,163	53.6	24,954,134,377	53.0	24,124,480,447	53.3	△ 829,653,930	△ 3.3
機械及び装置	11,556,820,222	24.0	11,694,461,562	24.8	10,644,013,720	23.5	△ 1,050,447,842	△ 9.0
工具、器具及び備品	8,230,775	0.0	14,990,238	0.0	12,797,962	0.0	△ 2,192,276	△ 14.6
建設仮勘定	312,669,779	0.6	15,585,126	0.0	241,913,329	0.5	226,328,203	1,452.2
(2)無形固定資産	6,567	0.0	6,567	0.0	6,567	0.0	0	0.0
借地権	6,567	0.0	6,567	0.0	6,567	0.0	0	0.0
地上権	0	—	0	—	0	—	0	—
<b>流動資産</b>	1,037,330,440	2.2	1,053,187,703	2.2	1,136,468,655	2.5	83,280,952	7.9
(1)現金預金	1,036,884,440	2.2	971,679,464	2.1	972,534,966	2.1	855,502	0.1
(2)未収金	446,000	0.0	81,508,239	0.2	163,933,689	0.4	82,425,450	101.1
(3)貸倒引当金	0	—	0	—	0	—	0	—
<b>(資産合計)</b>	48,216,380,197	100.0	47,078,059,573	100.0	45,249,009,478	100.0	△ 1,829,050,095	△ 3.9

## 比較貸借対照表（２）（流域下水道事業）

科 目	開始貸借対照表 (令和2年4月1日)		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成 比率	金額 (B)	構成 比率	金額 (C)	構成 比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D)/(B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定負債</b>	6,427,567,010	13.3	6,215,855,384	13.2	5,879,696,216	13.0	△ 336,159,168	△ 5.4
(1)企業債	6,427,567,010	13.3	6,215,855,384	13.2	5,879,696,216	13.0	△ 336,159,168	△ 5.4
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,326,685,010	13.1	6,118,915,384	13.0	5,788,528,216	12.8	△ 330,387,168	△ 5.4
その他の企業債	100,882,000	0.2	96,940,000	0.2	91,168,000	0.2	△ 5,772,000	△ 6.0
<b>流動負債</b>	1,308,691,753	2.7	1,419,698,928	3.0	1,528,711,110	3.4	109,012,182	7.7
(1)企業債	514,107,715	1.1	521,711,625	1.1	527,159,167	1.2	5,447,542	1.0
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	512,295,715	1.1	517,769,625	1.1	521,387,167	1.2	3,617,542	0.7
その他の企業債	1,812,000	0.0	3,942,000	0.0	5,772,000	0.0	1,830,000	46.4
(2)未払金	794,584,038	1.6	897,687,303	1.9	998,187,943	2.2	100,500,640	11.2
(3)引当金	0	—	0	—	3,064,000	0.0	3,064,000	皆増
賞与引当金	0	—	0	—	2,569,000	0.0	2,569,000	皆増
法定福利費引当金	0	—	0	—	495,000	0.0	495,000	皆増
(4)その他流動負債	0	—	300,000	0.0	300,000	0.0	0	0.0
<b>繰延収益</b>	36,294,318,558	75.3	35,381,942,741	75.2	33,858,455,202	74.8	△ 1,523,487,539	△ 4.3
(1)長期前受金	36,294,318,558	75.3	37,922,971,641	80.6	38,933,185,496	86.0	1,010,213,855	2.7
(2)長期前受金 収益化累計額	0	—	△ 2,541,028,900	△ 5.4	△ 5,074,730,294	△ 11.2	△ 2,533,701,394	△ 99.7
<b>(負債合計)</b>	44,030,577,321	91.3	43,017,497,053	91.4	41,266,862,528	91.2	△ 1,750,634,525	△ 4.1
<b>資本金</b>	1,403,950,390	2.9	1,405,762,390	3.0	1,405,762,390	3.1	0	0.0
<b>剰余金</b>	2,781,852,486	5.8	2,654,800,130	5.6	2,576,384,560	5.7	△ 78,415,570	△ 3.0
(1)資本剰余金	2,781,852,486	5.8	2,781,852,486	5.9	2,781,852,486	6.1	0	0.0
建設負担金	536,597,919	1.1	536,597,919	1.1	536,597,919	1.2	0	0.0
受贈財産評価額	635,548	0.0	635,548	0.0	635,548	0.0	0	0.0
他会計負担金	30,719,007	0.1	30,719,007	0.1	30,719,007	0.1	0	0.0
国庫補助金	1,601,334,642	3.3	1,601,334,642	3.4	1,601,334,642	3.5	0	0.0
その他負担金	0	—	0	—	0	—	0	—
その他資本剰余金	612,565,370	1.3	612,565,370	1.3	612,565,370	1.4	0	0.0
(2)欠損金	0	—	127,052,356	0.3	205,467,926	0.5	78,415,570	61.7
当年度未処理欠損金	0	—	127,052,356	0.3	205,467,926	0.5	78,415,570	61.7
<b>(資本合計)</b>	4,185,802,876	8.7	4,060,562,520	8.6	3,982,146,950	8.8	△ 78,415,570	△ 1.9
<b>負債・資本合計</b>	48,216,380,197	100.0	47,078,059,573	100.0	45,249,009,478	100.0	△ 1,829,050,095	△ 3.9

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額（B）について、絶対値で計算している。

別表 8

比較貸借対照表(1)(十和田湖特定環境保全公共下水道事業)

科 目	開始貸借対照表 (令和2年4月1日)		令和2年度		令和3年度		比較増減	
	金額 (A)	構成 比率	金額 (B)	構成 比率	金額 (C)	構成 比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	<b>3,291,940,180</b>	<b>97.6</b>	<b>3,161,710,315</b>	<b>97.4</b>	<b>3,094,582,540</b>	<b>93.1</b>	<b>△ 67,127,775</b>	<b>△ 2.1</b>
(1)有形固定資産	3,291,198,335	97.6	3,160,968,470	97.3	3,093,840,695	93.1	△ 67,127,775	△ 2.1
土地	153,047,580	4.5	153,047,580	4.7	153,047,580	4.6	0	0.0
建物	617,785,798	18.3	590,403,353	18.2	563,020,908	16.9	△ 27,382,445	△ 4.6
構築物	1,950,394,520	57.8	1,868,908,090	57.5	1,787,421,660	53.8	△ 81,486,430	△ 4.4
機械及び装置	569,754,438	16.9	520,005,196	16.0	470,712,659	14.2	△ 49,292,537	△ 9.5
工具、器具及び備品	215,999	0.0	215,999	0.0	215,999	0.0	0	0.0
建設仮勘定	0	—	28,388,252	0.9	119,421,889	3.6	91,033,637	320.7
(2)無形固定資産	741,845	0.0	741,845	0.0	741,845	0.0	0	0.0
借地権	0	—	0	—	0	—	0	—
地上権	741,845	0.0	741,845	0.0	741,845	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	<b>79,585,365</b>	<b>2.4</b>	<b>85,815,462</b>	<b>2.6</b>	<b>229,838,173</b>	<b>6.9</b>	<b>144,022,711</b>	<b>167.8</b>
(1)現金預金	59,346,532	1.8	15,639,610	0.5	140,654,560	4.2	125,014,950	799.3
(2)未収金	20,238,833	0.6	70,175,852	2.2	90,045,223	2.7	19,869,371	28.3
(3)貸倒引当金	0	—	0	—	△ 861,610	0.0	△ 861,610	皆減
<b>(資産合計)</b>	<b>3,371,525,545</b>	<b>100.0</b>	<b>3,247,525,777</b>	<b>100.0</b>	<b>3,324,420,713</b>	<b>100.0</b>	<b>76,894,936</b>	<b>2.4</b>

## 比較貸借対照表（２）（十和田湖特定環境保全公共下水道事業）

科 目	開始貸借対照表 (令和2年4月1日)		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成 比率	金額 (B)	構成 比率	金額 (C)	構成 比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定負債</b>	26,622,000	0.8	25,710,000	0.8	24,138,000	0.7	△ 1,572,000	△ 6.1
(1) 企業債	26,622,000	0.8	25,710,000	0.8	24,138,000	0.7	△ 1,572,000	△ 6.1
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	0	—	0	—	0	—	0	—
その他の企業債	26,622,000	0.8	25,710,000	0.8	24,138,000	0.7	△ 1,572,000	△ 6.1
<b>流動負債</b>	49,000,643	1.5	38,009,585	1.2	130,868,450	3.9	92,858,865	244.3
(1) 企業債	342,000	0.0	912,000	0.0	1,572,000	0.0	660,000	72.4
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	0	—	0	—	0	—	0	—
その他の企業債	342,000	0.0	912,000	0.0	1,572,000	0.0	660,000	72.4
(2) 未払金	48,658,643	1.4	37,097,585	1.1	129,296,450	3.9	92,198,865	248.5
(3) 引当金	0	—	0	—	0	—	0	—
賞与引当金	0	—	0	—	0	—	0	—
法定福利費引当金	0	—	0	—	0	—	0	—
(4) その他流動負債	0	—	0	—	0	—	0	—
<b>繰延収益</b>	3,138,892,600	93.1	3,039,198,938	93.6	3,018,623,805	90.8	△ 20,575,133	△ 0.7
(1) 長期前受金	3,138,892,600	93.1	3,197,817,055	98.5	3,335,403,334	100.3	137,586,279	4.3
(2) 長期前受金 収益化累計額	0	—	△ 158,618,117	△ 4.9	△ 316,779,529	△ 9.5	△ 158,161,412	△ 99.7
<b>(負債合計)</b>	<b>3,214,515,243</b>	<b>95.3</b>	<b>3,102,918,523</b>	<b>95.5</b>	<b>3,173,630,255</b>	<b>95.5</b>	<b>70,711,732</b>	<b>2.3</b>
<b>資本金</b>	<b>3,962,722</b>	<b>0.1</b>	<b>4,304,722</b>	<b>0.1</b>	<b>4,304,722</b>	<b>0.1</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>
<b>剰余金</b>	<b>153,047,580</b>	<b>4.5</b>	<b>140,302,532</b>	<b>4.3</b>	<b>146,485,736</b>	<b>4.4</b>	<b>6,183,204</b>	<b>4.4</b>
(1) 資本剰余金	153,047,580	4.5	153,047,580	4.7	153,047,580	4.6	0	0.0
建設負担金	68,231,759	2.0	68,231,759	2.1	68,231,759	2.1	0	0.0
受贈財産評価額	0	—	0	—	0	—	0	—
他会計負担金	0	—	0	—	0	—	0	—
国庫補助金	65,498,168	1.9	65,498,168	2.0	65,498,168	2.0	0	0.0
その他負担金	19,304,018	0.6	19,304,018	0.6	19,304,018	0.6	0	0.0
その他資本剰余金	13,635	0.0	13,635	0.0	13,635	0.0	0	0.0
(2) 欠損金	0	—	12,745,048	0.4	6,561,844	0.2	△ 6,183,204	△ 48.5
当年度未処理欠損金	0	—	12,745,048	0.4	6,561,844	0.2	△ 6,183,204	△ 48.5
<b>(資本合計)</b>	<b>157,010,302</b>	<b>4.7</b>	<b>144,607,254</b>	<b>4.5</b>	<b>150,790,458</b>	<b>4.5</b>	<b>6,183,204</b>	<b>4.3</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>3,371,525,545</b>	<b>100.0</b>	<b>3,247,525,777</b>	<b>100.0</b>	<b>3,324,420,713</b>	<b>100.0</b>	<b>76,894,936</b>	<b>2.4</b>

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額（B）について、絶対値で計算している。





# 青 森 県 病 院 事 業 会 計



## 第1 審査の方法

令和3年度青森県病院事業会計の決算審査に当たっては、審査に付された決算書類及び決算附属書類について、青森県監査委員監査基準に準拠し、

- 1 適法性及び正確性
- 2 事業運営の経済性
- 3 公共の福祉の増進

などに重点をおき照合精査するとともに、定期監査及び例月出納検査の結果をも参考にして審査を実施した。

## 第2 審査の結果及び意見

審査の結果、決算書類及び決算附属書類は関係法令等に基づいて作成され、令和3年度の経営成績及び令和4年3月31日現在の財政状態を適正に表示していることを確認した。

事業運営については、新型コロナウイルス感染症の影響等により、今後も経営を取り巻く環境は厳しいことが予想されることから、引き続き経営の効率化に努める必要がある。

### 1 青森県立中央病院

当年度の事業収支は、事業収益29,226,885,878円に対し、事業費用28,288,318,637円で、純利益938,567,241円を計上している。

純利益は、前年度と比較し77,585,063円減少している。

過年度医業未収金は204,259,046円となっており、前年度より30,052,425円増加していることから、引き続き未収金の縮減に努める必要がある。

当病院は、県全域を対象とした高度急性期病院として、また、県内唯一の県立総合病院として、より質の高い高度・専門・政策医療を提供すること等により、県民の安全・安心を支えていくという大きな役割を担っている。

今後とも、県が策定した「青森県地域医療構想」を着実に推進していくため、平成31年3月に策定した「県立病院チャレンジ（挑戦）プラン2019」を踏まえ、引き続き、各種取組を確実に実施し、収益の向上及び費用の節減に努め、一層の経営の効率化を図る必要がある。

## 2 青森県立つくしが丘病院

当年度の事業収支は、事業収益1,901,516,666円、事業費用1,832,405,600円で、純利益69,111,066円を計上している。

純利益は、前年度と比較し1,637,541円減少している。

過年度医業未収金は14,982,174円となっており、前年度より43,512円減少しているものの、引き続き未収金の縮減に努める必要がある。

当病院は、県内唯一の県立精神科病院として、他の設置主体が対応困難な患者を受け入れるとともに、在宅支援の強化のため、令和元年7月に訪問看護ステーションを開設し、患者の円滑な地域移行、さらには社会復帰を促進している。

今後とも、平成31年3月に策定した「県立病院チャレンジ（挑戦）プラン2019」を踏まえ、引き続き各種取組を確実に実施し、収益の向上及び費用の節減に努め、一層の経営の効率化を図る必要がある。

## 第3 決算の概要

### 1 青森県立中央病院

#### (1) 事業の概況

##### ア 施設の状況

当年度における診療部門は、診療科目27科である。

病床数は一般病床679床及び感染症病床5床で、前年度と同じである。

##### イ 職員の状況

当年度末における職員数は1,218人で、前年度に比較して4人増加している。

これは、看護職員で8人及び労務員で2人減となったが、医療技術員で13人及び事務職員で1人増となったことによるものである。

##### ウ 施設の利用状況（別表1・2参照）

当年度の診療実績は延べ患者数469,774人で、前年度に比較して7,113人（1.5%）増加している。

これを入院、外来別にみると、入院で4,215人（2.3%）減少し、外来で11,328人（4.1%）増加している。

これは、主として、入院患者数では、血液内科で3,518人減となったことによるものである。

また、外来患者数では、内分泌内科で1,796人減となったが、総合診療部で8,723人、消化器内科で1,570人及び小児科で1,529人増となったことによるものである。

##### エ 建設改良の状況

当年度における建設改良費の総額は1,468,117,682円で、その主なものは、電子カルテ等基幹システム218,272,308円、空調・熱源設備改修工事181,872,400円、衛生・配管改修工事174,075,600円、X線一般撮影装置72,600,000円、乳房X線撮影装置64,900,000円及び手術室U P S等改修工事60,980,700円である。

## (2) 決算の状況

### ア 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	28,176,479,000	29,314,534,873	1,138,055,873	104.0
支 出	28,541,330,000	27,508,134,452	△1,033,195,548	96.4
収支差引	△364,851,000	1,806,400,421	2,171,251,421	—

### イ 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	1,637,815,000	1,587,237,273	△50,577,727	96.9
支 出	2,737,493,000	2,652,794,776	△84,698,224	96.9
収支差引	△1,099,678,000	△1,065,557,503	34,120,497	—

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,065,557,503円は、建設改良積立金59,000,000円及び損益勘定留保資金1,006,557,503円で補てんしている。

## (3) 経営の実績 (別表3・4参照)

### ア 損益計算書

令和3年度の損益状況についてみると、事業収益29,226,885,878円から事業費用28,288,318,637円を差し引いた純利益は938,567,241円で、前年度の純利益1,016,152,304円に比較して77,585,063円(7.6%)減少している。

これは、収益では外来収益及びその他医業収益が前年度を上回ったものの、費用では材料費及び給与費が前年度を上回ったため、医業費用が医業収益以上に増加したことによるものである。

(ア) 医業収益は24,422,163,878円で、前年度に比較して1,292,813,006円(5.6%)増加している。

これは、主として、外来収益で707,427,933円(8.8%)及びその他医業収益で527,300,739円(215.3%)増となったことによるものである。

(イ) 医業外収益は4,804,722,000円で、前年度に比較して29,895,400円(0.6%)増

加している。

これは、補助金で84,763,916円(64.8%)、長期前受金戻入で51,470,875円(4.9%)、その他医業外収益で4,837,666円(2.8%)及び受取利息配当金で239,056円(36.0%)減となったが、負担金交付金で171,206,913円(5.0%)増となったことによるものである。

なお、高度医療及び救急医療等の不採算部門に対する一般会計からの負担金交付金は、1,295,388,000円である。

(ウ) 医業費用は26,659,455,687円で、前年度に比較して1,385,939,254円(5.5%)増加している。

これは、主として、材料費が771,720,909円(8.2%)及び給与費が547,206,595円(5.0%)増となったことによるものである。

(エ) 医業外費用は1,628,862,950円で、前年度に比較して14,354,215円(0.9%)増加している。

これは、主として、支払利息及び企業債取扱諸費で4,209,047円(7.9%)減となったが、雑損失で17,596,956円(1.2%)増となったことによるものである。

(オ) 医業収益から医業費用を差し引いた医業損失は2,237,291,809円で、前年度の医業損失2,144,165,561円に比較して93,126,248円(4.3%)増加している。

(カ) 医業収益及び医業外収益から医業費用及び医業外費用を差し引いた経常利益は938,567,241円で、前年度の経常利益1,016,152,304円に比較して77,585,063円(7.6%)減少している。

## イ 剰余金計算書

当年度利益剰余金は4,833,714,995円となったが、これは、前年度末残高4,295,097,754円から資本金に399,950,000円を組み入れ、当年度の純利益938,567,241円を加えたものである。

また、当年度末処分利益剰余金は997,567,241円となったが、これは、当年度純利益938,567,241円にその他未処分利益剰余金変動額59,000,000円を加えたものである。

## ウ 剰余金処分計算書（案）

当年度未処分利益剰余金997,567,241円は、建設改良積立金として938,567,241円を積み立て、資本金に59,000,000円を組み入れることにしている。

## （４）財政状況（別表４参照）

### ア 貸借対照表

#### （ア）資 産

当年度末における資産合計は31,501,604,024円で、前年度に比較して1,008,027,459円（3.3%）増加している。

これは、主として、流動資産のうち現金預金で598,538,348円（5.6%）及び未収金で356,661,357円（8.3%）増となったことによるものである。

#### （イ）負 債

当年度末における負債合計は19,333,923,191円で、前年度に比較して69,460,218円（0.4%）増加している。

これは、主として、流動負債のうち未払金で509,310,437円（17.5%）、繰延収益で297,715,109円（15.9%）及び固定負債のうち企業債で203,655,416円（3.5%）減となったが、固定負債のうち引当金で581,727,913円（38.5%）及びリース債務で472,744,282円（48.7%）増となったことによるものである。

#### （ウ）資 本

当年度末における資本合計は12,167,680,833円で、前年度に比較して938,567,241円（8.4%）増加している。

これは、純利益938,567,241円が生じたことによるものである。

### イ 資金収支

当年度の受入資金総額53,082,615,458円に対し、支払資金総額は41,732,337,508円で、資金残高は11,350,277,950円であり、譲渡性預金4,000,000,000円、普通預金7,350,257,950円及び現金20,000円として保管されている。



## 2 青森県立つくしが丘病院

### (1) 事業の概況

#### ア 施設の状況

当年度における診療部門は診療科目3科、病床数は230床で、前年度と同じである。

#### イ 職員の状況

当年度末における職員数は112人で、前年度に比較して2人減少している。  
これは、看護職員で1人及び医療技術員で1人減となったことによるものである。

#### ウ 施設の利用状況（別表6参照）

当年度の診療実績は延べ患者数70,469人で、前年度に比較して93人(0.1%)増加している。

これを入院、外来別にみると、入院で182人(0.4%)減少し、外来で275人(0.9%)増加している。

また、在宅支援の強化のため、令和元年7月1日に開設した「訪問看護ステーションつくしのえん」の当年度の利用実績は延べ利用者数3,067人であった。

#### エ 建設改良の状況

当年度における建設改良費の総額は14,751,880円で、その主なものは、脳波計9,295,000円、監視カメラ1,210,000円及び酸素濃縮装置1,148,400円である。

### (2) 決算の状況

#### ア 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
収 入	円 1,893,058,000	円 1,904,098,763	円 11,040,763	% 100.6
支 出	1,929,316,000	1,819,204,240	△110,111,760	94.3
収支差引	△36,258,000	84,894,523	121,152,523	—

## イ 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	予算額に比べ決算 額の増減(△)額 B-A	予算額に対する 決算額の比率 B/A
	円	円	円	%
収 入	55,223,000	57,581,400	2,358,400	104.3
支 出	61,266,000	59,751,880	△1,514,120	97.5
収支差引	△6,043,000	△2,170,480	3,872,520	—

資本的収入額が資本的支出額に不足する額2,170,480円は、損益勘定留保資金2,170,480円で補てんしている。

### (3) 経営の実績 (別表7・8参照)

#### ア 損益計算書

令和3年度の損益状況についてみると、事業収益1,901,516,666円から事業費用1,832,405,600円を差し引いた純利益は69,111,066円で、前年度の純利益70,748,607円に比較して1,637,541円(2.3%)減少している。

これは、収益では入院収益が前年度を上回ったものの、費用では経費及び給与費が前年度を上回ったため、事業費用が事業収益以上に増加したことによるものである。

(ア) 医業収益は1,198,022,137円で、前年度に比較して34,720,136円(3.0%)増加している。

これは、外来収益で3,083,755円(1.0%)減となったが、入院収益で36,118,969円(4.5%)及びその他医業収益で1,684,922円(3.0%)増となったことによるものである。

なお、その他医業収益の主なもの、訪問看護収益45,878,132円である。

(イ) 医業外収益は703,494,529円で、前年度に比較して30,037,605円(4.5%)増加している。

これは、主として、補助金3,448,900円(33.6%)減となったが、負担金交付金で16,237,162円(3.2%)、長期前受金戻入で14,228,192円(9.5%)増となったことによるものである。

なお、処遇困難病棟の運営及び長期入院に要する経費等の不採算部門に対する一般会計からの負担金交付金は、494,354,000円である。

(ウ) 医業費用は1,777,692,536円で、前年度に比較して69,109,732円(4.0%)増加してい

る。

これは、主として、経費で32,531,510円（11.3%）、給与費で21,466,063円（2.0%）及び資産減耗費で8,347,290円（524.4%）増となったことによるものである。

(エ) 医業外費用は54,713,064円で、前年度に比較して2,714,450円（4.7%）減少している。

これは、主として、雑損失で2,702,231円（4.7%）減となったことによるものである。

(オ) 医業収益から医業費用を差し引いた医業損失は579,670,399円で、前年度の医業損失545,280,803円に比較して34,389,596円（6.3%）増加している。

(カ) 医業収益及び医業外収益から医業費用及び医業外費用を差し引いた経常利益は69,111,066円で、前年度の経常利益70,748,607円に比較して1,637,541円（2.3%）減少している。

## イ 剰余金計算書

当年度末処分利益剰余金は69,111,066円となったが、これは、当年度の純利益69,111,066円である。

## ウ 剰余金処分計算書（案）

当年度末処分利益剰余金69,111,066円は、建設改良積立金として全額を積み立てることになっている。

## （４）財政状況（別表８参照）

### ア 貸借対照表

#### （ア）資 産

当年度末における資産合計は3,398,307,263円で、前年度に比較して58,952,179円（1.8%）増加している。

これは、固定資産で153,447,054円（8.0%）減となったが、流動資産で212,399,233円（14.9%）増となったことによるものである。

#### （イ）負 債

当年度末における負債合計は2,608,751,074円で、前年度に比較して10,158,887円

(0.4%) 減少している。

これは、流動負債で134,061,241円 (62.1%) 増となったが、繰延収益で116,241,812円 (7.3%) 及び固定負債で27,978,316円 (3.4%) 減となったことによるものである。

#### **(ウ) 資 本**

当年度末における資本合計は789,556,189円で、前年度に比較して69,111,066円 (9.6%) 増加している。

これは、純利益69,111,066円が生じたことによるものである。

#### **イ 資金収支**

当年度の受入資金総額3,027,728,225円に対し、支払資金総額は1,588,963,792円で、資金残高は1,438,764,433円であり、普通預金1,438,634,368円及び現金130,065円として保管されている。

別 表（青森県立中央病院）

別表1 利用患者状況調

別表2 年度別患者数比較表

別表3 比較損益計算書

別表4 比較貸借対照表

別表5 経営分析表



別 表 1

利用患者状況調

年度	入 院					外 来			延べ患者数計	指 数
	延べ患者数	指 数	一日平均患者数	病床数	病 床利用率	延べ患者数	指 数	一日平均患者数		
元	人 204,141	100.0	人 558	床 684	% 81.5	人 305,340	100.0	人 1,267	人 509,481	100.0
2	183,538	89.9	503	684	73.5	279,123	91.4	1,153	462,661	90.8
3	179,323	87.8	491	684	71.8	290,451	95.1	1,200	469,774	92.2

注：指数は令和元年度を100とした。





## 別表 3

## 比較損益計算書

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
<b>医業収益</b>	円 24,084,116,998	% 87.5	円 23,129,350,872	% 81.8	円 24,422,163,878	% 83.6	円 1,292,813,006	% 5.6
(1) 入院収益	16,142,583,030	58.7	14,848,399,616	52.5	14,906,483,950	51.0	58,084,334	0.4
(2) 外来収益	7,724,101,990	28.1	8,035,993,449	28.4	8,743,421,382	29.9	707,427,933	8.8
(3) その他医業収益	217,431,978	0.8	244,957,807	0.9	772,258,546	2.6	527,300,739	215.3
<b>医業費用</b>	<b>25,765,112,916</b>	<b>94.3</b>	<b>25,273,516,433</b>	<b>92.7</b>	<b>26,659,455,687</b>	<b>94.2</b>	<b>1,385,939,254</b>	<b>5.5</b>
(1) 給与費	11,087,270,122	40.6	10,858,929,632	39.8	11,406,136,227	40.3	547,206,595	5.0
(2) 材料費	9,956,108,925	36.4	9,465,549,140	34.7	10,237,270,049	36.2	771,720,909	8.2
(3) 経費	2,769,433,425	10.1	2,865,646,332	10.5	2,890,314,399	10.2	24,668,067	0.9
(4) 研究研修費	111,943,448	0.4	58,478,975	0.2	67,718,181	0.2	9,239,206	15.8
(5) 減価償却費	1,686,713,004	6.2	1,889,931,346	6.9	1,914,034,221	6.8	24,102,875	1.3
(6) 長期前払消費税償却	91,511,761	0.3	102,528,320	0.4	118,817,181	0.4	16,288,861	15.9
(7) 資産減耗費	62,132,231	0.2	32,452,688	0.1	25,165,429	0.1	△ 7,287,259	△ 22.5
<b>(医業損益)</b>	<b>△ 1,680,995,918</b>	<b>—</b>	<b>△ 2,144,165,561</b>	<b>—</b>	<b>△ 2,237,291,809</b>	<b>—</b>	<b>△ 93,126,248</b>	<b>△ 4.3</b>
<b>医業外収益</b>	<b>3,435,951,091</b>	<b>12.5</b>	<b>4,774,826,600</b>	<b>16.9</b>	<b>4,804,722,000</b>	<b>16.4</b>	<b>29,895,400</b>	<b>0.6</b>
(1) 受取利息配当金	1,048,388	0.0	664,405	0.0	425,349	0.0	△ 239,056	△ 36.0
(2) 補助金	44,517,000	0.2	130,776,049	0.5	46,012,133	0.2	△ 84,763,916	△ 64.8
(3) 負担金交付金	2,056,448,752	7.5	3,424,642,365	12.1	3,595,849,278	12.3	171,206,913	5.0
(4) 長期前受金戻入	1,133,458,312	4.1	1,048,654,669	3.7	997,183,794	3.4	△ 51,470,875	△ 4.9
(5) その他医業外収益	200,478,639	0.7	170,089,112	0.6	165,251,446	0.6	△ 4,837,666	△ 2.8
<b>医業外費用</b>	<b>1,557,604,895</b>	<b>5.7</b>	<b>1,614,508,735</b>	<b>5.9</b>	<b>1,628,862,950</b>	<b>5.8</b>	<b>14,354,215</b>	<b>0.9</b>
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	57,811,878	0.2	53,102,347	0.2	48,893,300	0.2	△ 4,209,047	△ 7.9
(2) 保育所費	50,265,844	0.2	54,033,889	0.2	55,000,195	0.2	966,306	1.8
(3) 雑損失	1,449,527,173	5.3	1,507,372,499	5.5	1,524,969,455	5.4	17,596,956	1.2
<b>(医業外損益)</b>	<b>1,878,346,196</b>	<b>—</b>	<b>3,160,317,865</b>	<b>—</b>	<b>3,175,859,050</b>	<b>—</b>	<b>15,541,185</b>	<b>0.5</b>
<b>経常損益</b>	<b>197,350,278</b>	<b>—</b>	<b>1,016,152,304</b>	<b>—</b>	<b>938,567,241</b>	<b>—</b>	<b>△ 77,585,063</b>	<b>△ 7.6</b>
<b>特別利益</b>	<b>0</b>	<b>—</b>	<b>377,000,000</b>	<b>—</b>	<b>0</b>	<b>—</b>	<b>△ 377,000,000</b>	<b>皆減</b>
その他特別利益	0	—	377,000,000	—	0	—	△ 377,000,000	皆減
<b>特別損失</b>	<b>0</b>	<b>—</b>	<b>377,000,000</b>	<b>—</b>	<b>0</b>	<b>—</b>	<b>△ 377,000,000</b>	<b>皆減</b>
その他特別損失	0	—	377,000,000	—	0	—	△ 377,000,000	皆減
<b>(事業収益合計)</b>	<b>27,520,068,089</b>	<b>100.0</b>	<b>28,281,177,472</b>	<b>100.0</b>	<b>29,226,885,878</b>	<b>100.0</b>	<b>945,708,406</b>	<b>3.3</b>
<b>(事業費用合計)</b>	<b>27,322,717,811</b>	<b>100.0</b>	<b>27,265,025,168</b>	<b>100.0</b>	<b>28,288,318,637</b>	<b>100.0</b>	<b>1,023,293,469</b>	<b>3.8</b>
<b>当年度純損益</b>	<b>197,350,278</b>	<b>—</b>	<b>1,016,152,304</b>	<b>—</b>	<b>938,567,241</b>	<b>—</b>	<b>△ 77,585,063</b>	<b>△ 7.6</b>
<b>前年度繰越剰余金</b>	<b>150,063,356</b>	<b>—</b>	<b>62,105,978</b>	<b>—</b>	<b>0</b>	<b>—</b>	<b>△ 62,105,978</b>	<b>皆減</b>
<b>その他未処分利益剰 余金変動額</b>	<b>690,000,000</b>	<b>—</b>	<b>399,950,000</b>	<b>—</b>	<b>59,000,000</b>	<b>—</b>	<b>△ 340,950,000</b>	<b>△ 85.2</b>
<b>当年度未処分利益剰 余金</b>	<b>1,037,413,634</b>	<b>—</b>	<b>1,478,208,282</b>	<b>—</b>	<b>997,567,241</b>	<b>—</b>	<b>△ 480,641,041</b>	<b>△ 32.5</b>

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額 (B) について、絶対値で計算している。

## 別表 4

## 比較貸借対照表 (1)

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	<b>14,377,979,559</b>	<b>50.8</b>	<b>15,167,571,432</b>	<b>49.7</b>	<b>15,179,930,407</b>	<b>48.2</b>	<b>12,358,975</b>	<b>0.1</b>
(1) 有形固定資産	13,555,097,779	47.9	14,199,090,046	46.6	14,141,831,503	44.9	△ 57,258,543	△ 0.4
土地	1,121,666,197	4.0	1,121,666,197	3.7	1,121,666,197	3.6	0	0.0
建物	8,324,136,472	29.4	8,012,162,981	26.3	7,738,798,809	24.6	△ 273,364,172	△ 3.4
構築物	80,736,149	0.3	70,183,609	0.2	60,777,296	0.2	△ 9,406,313	△ 13.4
器械備品	3,347,364,820	11.8	3,722,565,718	12.2	3,477,121,932	11.0	△ 245,443,786	△ 6.6
車両	13,316,197	0.0	10,988,736	0.0	8,661,275	0.0	△ 2,327,461	△ 21.2
リース資産	489,092,485	1.7	1,144,340,638	3.8	1,676,834,427	5.3	532,493,789	46.5
受贈財産評価額資産	8,323,950	0.0	9,699,737	0.0	8,337,769	0.0	△ 1,361,968	△ 14.0
建設仮勘定	170,412,259	0.6	107,433,180	0.4	49,584,548	0.2	△ 57,848,632	△ 53.8
その他有形固定資産	49,250	0.0	49,250	0.0	49,250	0.0	0	0.0
(2) 無形固定資産	214,282,910	0.8	217,100,530	0.7	217,568,460	0.7	467,930	0.2
電話加入権	29,791,200	0.1	29,791,200	0.1	29,791,200	0.1	0	0.0
ソフトウェア	182,194,160	0.6	186,633,580	0.6	187,777,260	0.6	1,143,680	0.6
リース資産	2,297,550	0.0	675,750	0.0	0	—	△ 675,750	皆減
(3) 投資その他の資産	608,598,870	2.1	751,380,856	2.5	820,530,444	2.6	69,149,588	9.2
長期前払消費税	608,598,870	2.1	751,329,196	2.5	820,478,784	2.6	69,149,588	9.2
その他投資	0	—	51,660	0.0	51,660	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	<b>13,945,905,714</b>	<b>49.2</b>	<b>15,326,005,133</b>	<b>50.3</b>	<b>16,321,673,617</b>	<b>51.8</b>	<b>995,668,484</b>	<b>6.5</b>
(1) 現金預金	9,445,199,743	33.3	10,751,739,602	35.3	11,350,277,950	36.0	598,538,348	5.6
(2) 未収金	4,250,250,340	15.0	4,279,846,994	14.0	4,636,508,351	14.7	356,661,357	8.3
過年度医業未収金	196,427,223	0.7	174,206,621	0.6	204,259,046	0.6	30,052,425	17.3
年度内医業未収金	3,996,221,541	14.1	4,025,502,024	13.2	4,387,367,522	13.9	361,865,498	9.0
年度内医業外未収金	54,978,496	0.2	43,630,825	0.1	39,390,592	0.1	△ 4,240,233	△ 9.7
年度内その他未収金	2,623,080	0.0	36,507,524	0.1	5,491,191	0.0	△ 31,016,333	△ 85.0
(3) 未収金貸倒引当金	△ 29,046,411	△ 0.1	△ 28,146,626	△ 0.1	△ 21,376,658	△ 0.1	6,769,968	△ 0.2
(4) 貯蔵品	279,450,382	1.0	322,565,163	1.1	356,263,974	1.1	33,698,811	10.4
(5) 前払金	51,660	0.0	0	—	0	—	0	0.0
<b>(資産合計)</b>	<b>28,323,885,273</b>	<b>100.0</b>	<b>30,493,576,565</b>	<b>100.0</b>	<b>31,501,604,024</b>	<b>100.0</b>	<b>1,008,027,459</b>	<b>3.3</b>

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額 (B) について、絶対値で計算している。

## 比較貸借対照表(2)

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D)=(C)-(B)	伸び率(D)/(B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定負債</b>	12,020,794,760	42.4	12,321,487,506	40.4	13,072,304,285	41.5	750,816,779	6.1
(1)企業債	5,997,164,401	21.2	5,850,487,307	19.2	5,646,831,891	17.9	△203,655,416	△3.5
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	5,997,164,401	21.2	5,850,487,307	19.2	5,646,831,891	17.9	△203,655,416	△3.5
(2)他会計借入金	4,090,000,000	14.4	3,990,000,000	13.1	3,890,000,000	12.3	△100,000,000	△2.5
その他長期借入金	4,090,000,000	14.4	3,990,000,000	13.1	3,890,000,000	12.3	△100,000,000	△2.5
(3)リース債務	314,900,877	1.1	970,469,427	3.2	1,443,213,709	4.6	472,744,282	48.7
(4)引当金	1,618,729,482	5.7	1,510,530,772	5.0	2,092,258,685	6.6	581,727,913	38.5
退職給付引当金	1,618,729,482	5.7	1,510,530,772	5.0	2,092,258,685	6.6	581,727,913	38.5
<b>流動負債</b>	4,056,846,592	14.3	5,071,885,842	16.6	4,688,244,390	14.9	△383,641,452	△7.6
(1)企業債	1,047,477,596	3.7	1,084,677,094	3.6	1,089,655,416	3.5	4,978,322	0.5
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	1,047,477,596	3.7	1,084,677,094	3.6	1,089,655,416	3.5	4,978,322	0.5
(2)他会計借入金	100,000,000	0.4	100,000,000	0.3	100,000,000	0.3	0	0.0
その他長期借入金	100,000,000	0.4	100,000,000	0.3	100,000,000	0.3	0	0.0
(3)リース債務	215,800,356	0.8	283,217,067	0.9	397,355,928	1.3	114,138,861	40.3
(4)未払金	1,999,714,243	7.1	2,906,175,613	9.5	2,396,865,176	7.6	△509,310,437	△17.5
医業未払金	797,304,478	2.8	1,104,782,698	3.6	970,299,202	3.1	△134,483,496	△12.2
医業外未払金	6,152,273	0.0	12,345,065	0.0	40,210,002	0.1	27,864,937	225.7
その他未払金	1,196,257,492	4.2	1,789,047,850	5.9	1,386,355,972	4.4	△402,691,878	△22.5
(5)引当金	610,489,000	2.2	624,983,000	2.0	625,034,000	2.0	51,000	0.0
賞与引当金	512,753,000	1.8	524,410,000	1.7	524,261,000	1.7	△149,000	0.0
法定福利費引当金	97,736,000	0.3	100,573,000	0.3	100,773,000	0.3	200,000	0.2
(6)その他流動負債	83,365,397	0.3	72,833,068	0.2	79,333,870	0.3	6,500,802	8.9
<b>繰延収益</b>	2,033,282,633	7.2	1,871,089,625	6.1	1,573,374,516	5.0	△297,715,109	△15.9
(1)長期前受金	12,694,063,184	44.8	13,236,317,845	43.4	13,721,049,382	43.6	484,731,537	3.7
(2)長期前受金 収益化累計額	△10,660,780,551	△37.6	△11,365,228,220	△37.3	△12,147,674,866	△38.6	△782,446,646	△6.9
<b>(負債合計)</b>	18,110,923,985	63.9	19,264,462,973	63.2	19,333,923,191	61.4	69,460,218	0.4
<b>資本金</b>	6,244,015,838	22.0	6,934,015,838	22.7	7,333,965,838	23.3	399,950,000	5.8
<b>剰余金</b>	3,968,945,450	14.0	4,295,097,754	14.1	4,833,714,995	15.3	538,617,241	12.5
利益剰余金	3,968,945,450	14.0	4,295,097,754	14.1	4,833,714,995	15.3	538,617,241	12.5
建設改良積立金	2,931,531,816	10.4	2,816,889,472	9.2	3,836,147,754	12.2	1,019,258,282	36.2
当年度未処分 利益剰余金	1,037,413,634	3.7	1,478,208,282	4.8	997,567,241	3.2	△480,641,041	△32.5
<b>(資本合計)</b>	10,212,961,288	36.1	11,229,113,592	36.8	12,167,680,833	38.6	938,567,241	8.4
<b>負債・資本合計</b>	28,323,885,273	100.0	30,493,576,565	100.0	31,501,604,024	100.0	1,008,027,459	3.3

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 別表 5

## 経営分析表 (1)

項		目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
病床利用率 (%)		一般	82.1	73.9	72.3	
		感染症	0.0	21.4	12.5	
		計	81.5	73.5	71.8	
患者数	1日平均患者数 (人)	入院	558	503	491	
		外来	1,267	1,153	1,200	
	入院外来比率 (%)		149.6	152.1	162.0	
	職員1人1日 当たり患者数 (人)	医師	入院 外来	3.2 4.8	2.8 4.2	2.8 4.6
		看護部門	入院 外来	0.7 1.0	0.6 0.9	0.6 1.0
収入	患者1人1日 当たり診療収入 (円)	入院	79,076	80,901	83,126	
		投薬	645	614	924	
		注射	4,672	2,649	3,550	
		処置・手術	21,892	23,260	24,375	
		検査	1,056	1,108	1,636	
		放射線	215	228	231	
		入院料	45,828	48,091	47,104	
		食事療養	1,603	1,567	1,592	
		その他	3,165	3,384	3,714	
		外来	25,297	28,790	30,103	
		投薬	3,214	3,492	3,835	
		注射	11,096	13,121	13,624	
		処置・手術	501	497	508	
		検査	4,313	4,702	5,032	
		放射線	2,878	3,002	2,883	
		初診料	219	211	267	
再診料	566	585	599			
その他	2,510	3,180	3,355			
収益	職員1人1日 当たり診療収益 (円)	医師	378,920	346,960	372,217	
		看護部門	80,716	76,155	80,328	
費用	入院患者1人1日当たり給食材料費 (円)		679	664	650	
	患者1人1日 当たり薬品費 (円)	投薬	2,129	2,132	2,485	
		注射	8,966	9,197	9,729	
用	薬品使用効率 (%)	投薬	102.6	109.8	109.6	
		注射	95.1	97.1	100.5	
		計	96.5	99.5	102.4	

経営分析表 (2)

項		目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
診療収益に対する割合 (%)		投 薬 収 入	4.7	4.7	5.4	
		注 射 収 入	18.2	17.9	19.4	
		検 査 収 入	6.4	6.5	7.4	
		放 射 線 収 入	3.9	3.8	3.7	
医業収益に対する割合 (%)		職 員 給 与 費	46.0	47.0	46.7	
		(退職給付費を除 いた職員給与費)	(43.0)	(45.0)	(42.9)	
		薬 品 費	24.0	23.1	23.9	
		そ の 他 材 料 費	16.1	16.5	16.8	
検査 の 状 況	患者100人当たり検査件数 (件)		729.4	784.8	781.0	
	患者100人当たり放射線件数 (件)		27.7	30.5	28.9	
	検査部門1人当たり検査件数 (件)		70,015	66,833	70,895	
	検査部門1人当たり検査収入 (千円)		28,873	27,897	33,911	
	放射線部門1人当たりX線件数 (件)		4,153	4,033	3,670	
	放射線部門1人当たりX線収入 (千円)		27,203	25,137	23,749	
室料 差 額 の 状 況	1人1日当たり 徴収額(円)	個 室	最 高 最 低	15,840 4,100	15,840 4,100	15,840 4,100
	室料差額収益/入院収益 (%)		0.3	0.3	0.3	
	室料差額収益/総収益 (%)		0.2	0.2	0.1	
	室料差額対象病床数/総病床数 (%)		12.4	11.4	11.4	
病床100床 当たり職員数 (人)	医 師		25.9	26.4	26.1	
	看 護 部 門		119.7	117.5	115.0	
	薬 剤 部 門		5.1	9.2	6.2	
	事 務 部 門		14.1	14.6	26.5	
	給 食 部 門		2.2	1.6	1.9	
	放 射 線 部 門		5.0	5.1	5.4	
	臨 床 検 査 部 門		7.8	7.9	7.6	
	そ の 他 の 部 門		22.7	24.6	13.4	
	全 職 員		202.5	206.9	202.0	
1床 当たり固定資産 (千円)	償 却 資 産		17,929	18,962	18,963	
	う ち 建 物		12,170	11,714	11,314	
	う ち 器 械 備 品		4,894	5,442	5,084	



別 表（青森県立つくしが丘病院）

別表6 利用患者状況調

別表7 比較損益計算書

別表8 比較貸借対照表

別表9 経営分析表





別表 6

利用患者状況調

年度	入 院					外 来			延べ患者数計 合	指数
	延べ患者数	指数	1日平均 患者数	病床数	病 床 利用率	延べ患者数	指数	1日平均 患者数		
	人		人	床	%	人		人	人	
元	42,498	100.0	116	230	50.5	31,477	100.0	131	73,975	100.0
2	41,029	96.5	112	230	48.9	29,347	93.2	121	70,376	95.1
3	40,847	96.1	112	230	48.7	29,622	94.1	122	70,469	95.3

注：指数は、令和元年度を100とした。

【参考：訪問看護収益】

年度	延べ 利用者数	指数	1日平均 患者数	稼働額	1人1日 単価
	人		人	千円	円
元	2,122	-	11.7	32,108	15,131
2	3,210	151.3	13.2	47,898	14,921
3	3,067	144.5	12.7	45,706	14,903

注1：「訪問看護ステーションつくしのえん」は、令和元年7月1日開設。

注2：指数は、令和元年度を100とした。

## 別表 7

## 比較損益計算書

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
医業収益	円 1,155,391,323	% 63.7	円 1,163,302,001	% 63.1	円 1,198,022,137	% 63.0	円 34,720,136	% 3.0
(1)入院収益	780,979,836	43.1	805,008,102	43.6	841,127,071	44.2	36,118,969	4.5
(2)外来収益	331,357,734	18.3	301,405,666	16.3	298,321,911	15.7	△ 3,083,755	△ 1.0
(3)その他医業収益	43,053,753	2.4	56,888,233	3.1	58,573,155	3.1	1,684,922	3.0
医業費用	1,679,865,049	97.4	1,708,582,804	96.3	1,777,692,536	97.0	69,109,732	4.0
(1)給与費	1,057,679,649	61.3	1,075,783,081	60.6	1,097,249,144	59.9	21,466,063	2.0
(2)材料費	196,650,123	11.4	189,651,845	10.7	189,985,399	10.4	333,554	0.2
(3)経費	267,620,709	15.5	287,113,230	16.2	319,644,740	17.4	32,531,510	11.3
(4)研究研修費	2,708,419	0.2	2,137,517	0.1	2,394,340	0.1	256,823	12.0
(5)減価償却費	149,185,905	8.6	149,078,916	8.4	155,061,766	8.5	5,982,850	4.0
(6)長期前払消費税償却	5,788,565	0.3	3,226,537	0.2	3,418,179	0.2	191,642	5.9
(7)資産減耗費	231,679	0.0	1,591,678	0.1	9,938,968	0.5	8,347,290	524.4
(医業損益)	△ 524,473,726	—	△ 545,280,803	—	△ 579,670,399	—	△ 34,389,596	△ 6.3
医業外収益	657,503,757	36.3	673,456,924	36.5	703,494,529	37.0	30,037,605	4.5
(1)補助金	0	—	10,250,500	0.6	6,801,600	0.4	△ 3,448,900	△ 33.6
(2)負担金交付金	494,230,444	27.3	500,545,222	27.1	516,782,384	27.2	16,237,162	3.2
(3)長期前受金戻入	149,320,040	8.2	150,516,347	8.2	164,744,539	8.7	14,228,192	9.5
(4)その他医業外収益	13,953,273	0.8	12,144,855	0.7	15,166,006	0.8	3,021,151	24.9
医業外費用	45,072,653	2.6	57,427,514	3.2	54,713,064	3.0	△ 2,714,450	△ 4.7
(1)支払利息及び 企業債取扱諸費	109,220	0.0	106,599	0.0	94,380	0.0	△ 12,219	△ 11.5
(2)雑損失	44,963,433	2.6	57,320,915	3.2	54,618,684	3.0	△ 2,702,231	△ 4.7
(医業外損益)	612,431,104	—	616,029,410	—	648,781,465	—	32,752,055	5.3
経常損益	87,957,378	—	70,748,607	—	69,111,066	—	△ 1,637,541	△ 2.3
特別利益	0	—	8,050,000	0.4	0	—	△ 8,050,000	皆減
その他特別利益	0	—	8,050,000	0.4	0	—	△ 8,050,000	皆減
特別損失	0	—	8,050,000	0.5	0	—	△ 8,050,000	皆減
その他特別損失	0	—	8,050,000	0.5	0	—	△ 8,050,000	皆減
(事業収益合計)	1,812,895,080	100.0	1,844,808,925	100.0	1,901,516,666	100.0	56,707,741	3.1
(事業費用合計)	1,724,937,702	100.0	1,774,060,318	100.0	1,832,405,600	100.0	58,345,282	3.3
当年度純損益	87,957,378	—	70,748,607	—	69,111,066	—	△ 1,637,541	△ 2.3
前年度繰越欠損金	150,063,356	—	62,105,978	—	0	—	△ 62,105,978	皆減
当年度未処理欠損金	62,105,978	—	0	—	0	—	0	—
当年度未処分利益剰余金	0	—	8,642,629	—	69,111,066	—	60,468,437	699.7

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額 (B) について、絶対値で計算している。

## 別表 8

## 比較貸借対照表(1)

科 目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		比較増減※	
	金額(A)	構成比率	金額(B)	構成比率	金額(C)	構成比率	(D)=(C)-(B)	伸び率(D)/(B)
	円	%	円	%	円	%	円	%
<b>固定資産</b>	<b>2,031,361,081</b>	<b>62.0</b>	<b>1,918,604,031</b>	<b>57.5</b>	<b>1,765,156,977</b>	<b>51.9</b>	<b>△ 153,447,054</b>	<b>△ 8.0</b>
(1)有形固定資産	2,018,488,562	61.6	1,902,201,396	57.0	1,751,644,038	51.5	△ 150,557,358	△ 7.9
土地	85,197,226	2.6	85,197,226	2.6	85,197,226	2.5	0	0.0
建物	1,631,665,836	49.8	1,527,539,957	45.7	1,423,414,078	41.9	△ 104,125,879	△ 6.8
構築物	136,869,091	4.2	122,380,134	3.7	107,891,177	3.2	△ 14,488,957	△ 11.8
器械備品	162,013,980	4.9	165,004,865	4.9	133,660,120	3.9	△ 31,344,745	△ 19.0
車両	2,742,429	0.1	2,079,214	0.1	1,481,437	0.0	△ 597,777	△ 28.8
(2)無形固定資産	1,545,400	0.0	4,601,400	0.1	3,817,400	0.1	△ 784,000	△ 17.0
電話加入権	745,400	0.0	745,400	0.0	745,400	0.0	0	0.0
ソフトウェア	800,000	0.0	3,856,000	0.1	3,072,000	0.1	△ 784,000	△ 20.3
(3)投資その他の資産	11,327,119	0.3	11,801,235	0.4	9,695,539	0.3	△ 2,105,696	△ 17.8
長期前払消費税	11,327,119	0.3	11,767,605	0.4	9,661,909	0.3	△ 2,105,696	△ 17.9
その他投資	0	—	33,630	0.0	33,630	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	<b>1,245,002,833</b>	<b>38.0</b>	<b>1,420,751,053</b>	<b>42.5</b>	<b>1,633,150,286</b>	<b>48.1</b>	<b>212,399,233</b>	<b>14.9</b>
(1)現金預金	1,036,010,690	31.6	1,197,030,078	35.8	1,438,764,433	42.3	241,734,355	20.2
(2)未収金	203,361,833	6.2	217,573,711	6.5	188,822,720	5.6	△ 28,750,991	△ 13.2
過年度医業未収金	15,733,415	0.5	15,025,686	0.4	14,982,174	0.4	△ 43,512	△ 0.3
年度内医業未収金	181,768,118	5.5	184,250,672	5.5	167,775,030	4.9	△ 16,475,642	△ 8.9
年度内医業外未収金	5,378,520	0.2	15,918,223	0.5	5,664,059	0.2	△ 10,254,164	△ 64.4
年度内その他未収金	481,780	0.0	2,379,130	0.1	401,457	0.0	△ 1,977,673	△ 83.1
(3)未収金貸倒引当金	△ 2,043,773	△ 0.1	△ 2,046,553	△ 0.1	△ 2,234,644	△ 0.1	△ 188,091	9.2
(4)貯蔵品	7,640,453	0.2	8,193,817	0.2	7,797,777	0.2	△ 396,040	△ 4.8
(5)前払金	33,630	0.0	0	—	0	—	0	—
<b>(資産合計)</b>	<b>3,276,363,914</b>	<b>100.0</b>	<b>3,339,355,084</b>	<b>100.0</b>	<b>3,398,307,263</b>	<b>100.0</b>	<b>58,952,179</b>	<b>1.8</b>

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額(B)について、絶対値で計算している。

## 比較貸借対照表（２）

科 目	令和元年度		令和２年度		令和３年度		比較増減※	
	金額 (A)	構成比率	金額 (B)	構成比率	金額 (C)	構成比率	(D) = (C) - (B)	伸び率 (D) / (B)
<b>固定負債</b>	円 711,122,716	% 21.7	円 812,055,002	% 24.3	円 784,076,686	% 23.1	円 △ 27,978,316	% △ 3.4
(1) 企業債	136,500,000	4.2	118,500,000	3.5	75,750,000	2.2	△ 42,750,000	△ 36.1
建設改良費等の財源に充てるための企業債	136,500,000	4.2	118,500,000	3.5	75,750,000	2.2	△ 42,750,000	△ 36.1
(2) 他会計借入金	510,000,000	15.6	510,000,000	15.3	510,000,000	15.0	0	0.0
その他長期借入金	510,000,000	15.6	510,000,000	15.3	510,000,000	15.0	0	0.0
(3) 引当金	64,622,716	2.0	183,555,002	5.5	198,326,686	5.8	14,771,684	8.0
退職給付引当金	64,622,716	2.0	183,555,002	5.5	198,326,686	5.8	14,771,684	8.0
<b>流動負債</b>	231,041,034	7.1	215,914,470	6.5	349,975,711	10.3	134,061,241	62.1
(1) 企業債	43,247,500	1.3	45,000,000	1.3	51,750,000	1.5	6,750,000	15.0
建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,247,500	1.3	45,000,000	1.3	51,750,000	1.5	6,750,000	15.0
(2) 未払金	116,909,506	3.6	102,239,384	3.1	228,795,791	6.7	126,556,407	123.8
医業未払金	35,878,256	1.1	48,109,826	1.4	113,942,030	3.4	65,832,204	136.8
医業外未払金	618,700	0.0	366,260	0.0	755,800	0.0	389,540	106.4
その他未払金	80,412,550	2.5	53,763,298	1.6	114,097,961	3.4	60,334,663	112.2
(3) 引当金	65,467,000	2.0	63,549,000	1.9	64,252,000	1.9	703,000	1.1
賞与引当金	54,986,000	1.7	53,323,000	1.6	53,893,000	1.6	570,000	1.1
法定福利費引当金	10,481,000	0.3	10,226,000	0.3	10,359,000	0.3	133,000	1.3
(4) その他流動負債	5,417,028	0.2	5,126,086	0.2	5,177,920	0.2	51,834	1.0
<b>繰延収益</b>	1,684,503,648	51.4	1,590,940,489	47.6	1,474,698,677	43.4	△ 116,241,812	△ 7.3
(1) 長期前受金	3,487,160,541	106.4	3,515,452,729	105.3	3,370,147,532	99.2	△ 145,305,197	△ 4.1
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 1,802,656,893	△ 55.0	△ 1,924,512,240	△ 57.6	△ 1,895,448,855	△ 55.8	29,063,385	1.5
<b>(負債合計)</b>	2,626,667,398	80.2	2,618,909,961	78.4	2,608,751,074	76.8	△ 10,158,887	△ 0.4
<b>資本金</b>	711,802,494	21.7	711,802,494	21.3	711,802,494	20.9	0	0.0
自己資本金	711,802,494	21.7	711,802,494	21.3	711,802,494	20.9	0	0.0
<b>剰余金</b>	△ 62,105,978	△ 1.9	8,642,629	0.3	77,753,695	2.3	69,111,066	799.7
(1) 利益剰余金	0	—	8,642,629	0.3	77,753,695	2.3	69,111,066	799.7
建設改良積立金	0	—	0	—	8,642,629	0.3	8,642,629	皆増
当年度未処分剰余金	0	—	8,642,629	0.3	69,111,066	2.0	60,468,437	699.7
(2) 欠損金	62,105,978	△ 1.9	0	—	0	—	0	—
当年度未処理欠損金	62,105,978	△ 1.9	0	—	0	—	0	—
<b>(資本合計)</b>	649,696,516	19.8	720,445,123	21.6	789,556,189	23.2	69,111,066	9.6
<b>負債・資本合計</b>	3,276,363,914	100.0	3,339,355,084	100.0	3,398,307,263	100.0	58,952,179	1.8

※比較増減の伸び率の計算にあつては、前年度の金額 (B) について、絶対値で計算している。

## 別表 9

## 経営分析表(1)

項		目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
病床利用率 (%)		精神	50.5	48.9	48.7	
		計	50.5	48.9	48.7	
患者	1日平均患者数 (人)	入院	116.0	112.0	112.0	
		外来	131.0	121.0	122.0	
入院外来比率 (%)			74.1	71.5	72.5	
者数	職員1人1日 当たり患者数 (人)	医師	入院	13.5	16.7	17.1
			外来	10.0	11.9	12.4
		看護部門	入院	1.3	1.2	1.2
			外来	0.9	0.9	0.9
収	患者1人1日 当たり診療収入 (円)	入院	18,377	19,620	20,592	
		投薬	767	660	610	
		注射	201	164	139	
		処置	19	14	13	
		検査	187	197	206	
		放射線	35	36	42	
		入院料	13,815	15,289	16,143	
		食事療養	1,900	1,929	1,907	
		その他	1,453	1,331	1,532	
		外来	10,527	10,270	10,071	
		投薬	4,615	4,852	4,543	
		注射	758	803	852	
		処置	54	52	33	
		検査	520	518	536	
		放射線	45	29	45	
		初診料	61	58	66	
再診料	602	612	639			
その他	3,872	3,346	3,357			
収益	職員1人1日 当たり診療収益 (円)	医師	353,685	450,311	477,556	
		看護部門	33,312	33,311	34,094	
費用	患者1人1日 当たり薬品費 (円)	投薬	1,968	1,934	1,843	
		注射	385	374	397	
	薬品使用効率 (%)	投薬	122.2	124.5	122.8	
		注射	113.8	115.2	110.6	
		計	120.8	123.0	120.6	

## 経 営 分 析 表 ( 2 )

項 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
診療収益に対する割合 (%)	投薬・注射収入	18.9	18.0	16.7
	検 査 収 入	2.2	2.1	2.1
	放 射 線 収 入	0.3	0.2	0.3
医業収益に対する割合 (%)	職 員 給 与 費 (退職給付費を除いた職員給与費)	89.3 (78.0)	90.2 (78.9)	89.3 (78.3)
	薬 品 費	14.8	13.7	13.0
	その他医療材料費	1.1	1.5	1.9
検 査 の 状 況	患者100人当たり検査件数 (件)	103.1	109.8	113.4
	患者100人当たり放射線件数 (件)	2.2	2.1	2.2
	検査部門1人当たり検査件数 (件)	42,377	42,938	44,382
	検査部門1人当たり検査収入 (千円)	13,494	12,948	13,496
	放射線部門1人当たりX線件数 (件)	1,624	1,445	1,519
	放射線部門1人当たりX線収入 (千円)	2,899	2,337	3,064
病床100床当たり職員数 (人)	医 師	3.5	2.6	2.6
	看 護 部 門	40.1	40.0	39.7
	薬 剤 部 門	1.5	1.1	1.1
	事 務 部 門	5.4	5.9	5.9
	給 食 部 門	0.4	0.4	0.4
	放 射 線 部 門	0.4	0.4	0.4
	臨 床 検 査 部 門	0.8	0.8	0.8
	そ の 他 の 部 門	6.1	6.1	5.7
	全 職 員	58.3	57.3	56.5
1床当たり固定資産 (千円)	償 却 資 産	8,406	7,900	7,245
	う ち 建 物	7,094	6,641	6,189
	う ち 器 械 備 品	704	717	581